

第七十六回
帝國議會
貴族院

昭和十二年法律第九十號中改正法律案特別委員會會議事速記録第五號

昭和十六年二月二十五日(火曜日)午前十二分開會

○委員長(伯爵黑木三次君) 是ヨリ委員會ヲ開會致シマス、速記ヲ止メテ下サイ

(速記中止)

○委員長(伯爵黑木三次君) 速記ヲ始メテ下サイ、只今御懇談ノ結果本委員會ハ休憩致シマシテ、午後一時半ヨリ開會スルコトニ致シマス、デハ是ヲ以テ休憩致シマス

午前十時十四分休憩

午後一時三十八分開會

○委員長(伯爵黑木三次君) 是ヨリ委員會ヲ開會致シマス、チヨット皆様ニ御相談ガアルノデゴザイマスガ、委員外ノ多木君カラ多收穫ト云フコトニ付キマシテ、政府當局ヘノ御質問ノ御要求ガアリマシタガ、之ヲ御許シ致シマシテ宜シウゴザイマスガ、御諮リ致シマス、御異議ゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○子爵織田信恒君 時間ヲ餘程要スル御質問デゴザイマセウカ

○委員長(伯爵黑木三次君) 今伺ヒマシタ所ガ十分カ二十分ト云フ御話デゴザイマス

○子爵織田信恒君 ソレデヤ私ハ異議ハゴザイマセヌ

○委員長(伯爵黑木三次君) ソレデハ多木君

○委員外議員(多木久米次郎君) 委員外ノ議員ト致シマシテ甚ダ恐縮デゴザイマスガ、外デモゴザイマセヌガ、私ハ食糧ノ問題ニ付キマシテ農林省ガ非常ナ熱心ニ百方御研

究ニナリマシタコトハ非常ニ感激シテ居ル所デゴザイマス、併シナガラ私ハ百姓デアリマス、農林省ノ獎勵ニ付キマシテハ私モ大分研究シテ居ルコトガゴザイマス、此ノ農村ニ多收穫獎勵ノ爲ニ、或ハ技術員ナリヲ澤山ニ派遣致シマシテ、御獎勵ニナリマスコトハ誠ニ結構ト存ジマス、併シナガラ實際農家ト云フモノノ一舉一動ガ收穫ニ關係ガアルノデゴザイマス、況ヤ此ノ收穫ガ食糧ノ問題ニモ、經濟問題ニモ、貿易ノ權衡ノ上ニモ重大ナ關係ガアルコトハ申ス迄モアリマセヌ、況ヤ朝鮮、臺灣ガアルノデゴザイマス、ソレデ私ノ御願ヒシタイコトハ、一方ニハ御獎勵ニナリマス共ニ、各町村ニ麥ナリ米ナリノ品評會ヲ開キマシテ、ソレデ一等ニ當ルモノハ百圓位程度ヤツテ先ツソレヲ互選致シマシテ、郡ノ一等ニツタモノハ千圓位ヤツテ、一縣デ一番良イノハ三千圓トカ五千圓トカヤル、私ノ考デハ百圓ヅ、ヤリマシテモ百十萬圓ニナリマス、麥ノ方ヤレバ二百二十萬圓ニナリマス、千圓ヅ、ヤリマシテモ七百乃至八百萬近クナリマス、ソレデソレヲ知事ノ名前ナリ、農林大臣ノ名前デヤルト云フコトニシマス、非常ニ獎勵ニナルト私ハ思ッテ居リマス、私ハ縣農會ヲヤツテ居リマスガ、是ハ誠ニ簡單ナコトデアリマシテ、是ガ一番宜イト考ヘルノデアリマス、僅カナ金デ行クコトガ出來マス、農會ナドニ補助ヲオヤリニナルヨリ……チヨット言ヒニクイコトデゴザイマスガ、殆ド效力ガナイト考ヘルカ

第デアリマス、餘リ技術員バカリニ重キヲ置カレテ居リマス、今日ノ技術員ガ實際的ニ百姓ノコトヲ研究シタリ、田ノ中ニ飛ビ込ンデヤツタヤウナ經驗ノアル人ハ何人アルカト云フ實情デアリマス、餘リ是ノミニ重キヲ置カレト云フコトハ餘程是ハ考ヘ物ダト思ヒマス、モウ一ツニハ小作料ヲ負ケテヤルト云フコトハ結構ト思ヒマスガ、農民カラ税金ヲ餘リ澤山取ルト云フコトモ政治道德カラ言ッテドウカト考ヘテ居リマス、是等ハ農林省ノ方デ御考ヲ願ヒタイ、斯ウ云フコトハ思想ノ上ニモ大ナル影響ヲ來ス譯デアリマス、ドウシテモ地主ト小作トガ相提携シテヤリ得ルヤウニスルコトガ必要デアアルノデヤナイカ、日本ノ土地ハ狭ウゴザイマスカラ、アメリカカデヤツテ居ルヤウナ機械ヲ應用スルコトガ出來ナイ、併シナガラ機械ガ小サケレバ小サイダケ、面積ガ狭ケレバ狭イダケ、或ハ雜穀トカ、雜草トカ、色々ナ部門ヲ分ケテ、サウシテ年限ヲ切ッテ御獎勵ニナリマスレバ努力モ省ケテ來ルンデハナイカ、サウ云フ風ニシテ缺陷ノナイヤウニシテ貰ヒタイ、サウシテ一方ニハ農具ノ共進會、博覽會ヲ開イテ實際ヲ能ク研究サレマシテ、農民ノ便利ヲ圖ルヤウニシテ戴キタイ、土地ト云フモノハ無盡藏デアリマスカラ、收穫ノ年々同ジヤウニ得ルニハ耕作ヨリ外ナイノデアリマス、ソレカラ人口ノ問題カラ言ッテモ申ス迄モナイコトデアリマシテ、七十五年經タヌ間ニ七千何百萬ニナリ、朝鮮、臺灣、滿洲ヲ入レマスレバ殆ド一億

五千萬、五十年經タヌ間ニ三億ニナルノデアリマス、ソレカラ米ノ問題ニシテモ現ニ今日農村ガ疲弊ヲ致シマシテ、六十何億ノ借金ガアル、我々國民ニ食糧ヲ供給スル爲ニ農民ガ借金ヲシテ居ルト云フコトハ、是ハ事實ガ顛倒シテ居ル、ドウシテモ農家ノ收入ヲ殖スヤウニシナケレバナラヌト思ヒマス、ト同時ニ農產物ノ確保ト云フ點ニ御考慮ヲ下サレテ、食糧問題ニ付テモ大イニ御考ヲ戴キタイト思ヒマス、之ニ付テハ豆ノ問題ガアルノデアリマス、日本ノ豆ト云フモノハ國防上カラ言ッテモ、大切ナ物デアリマシテ、ソレガ滿洲ニ於テ千五百萬「ト」モ出來ルノデアリマス、是ハ何タル天恵デアリマセウ、是等ハ脂肪ニ於テモ、蛋白ニ於テモ、澱粉ニ於テモ、食物中ニ及ブ物ハアリマセヌ、澱粉ヲ食ハナイ當然ノ結果肉食ガ流行リマシテ、サウシテ體格ガ段段惡クナッタ、僅カニ體格ヲ維持シテ來タト云フノハ豆ノ力ニ依ルモノデアアル、豆ハ御承知ノ通り豆腐ニモナリ、又味噌ニモナリ又醬油ニモナルト云フ譯デ、或ハ油揚ニモナルト云フ譯デ非常ナ榮養分ヲ持ッテ居ル、現ニ三十年、四十年前カラ「ヨーロッパ」ニ於テハ支那ヤ滿洲ノ豆粕ヲ持ッテ歸ッテ、ソレヲ食ベタ後デナケレバ肥料ニセヌノデアリマス、或ハ豆粕カラ相當ナオ菓子ヲ拵ヘルサウシテ持ッテ行カレルノミナラズ、近頃ハ「ドイツ」デモ豆粕ヲ軍隊ノ食糧ニスルト云フヤウナコトデ榮養分ヲ拵ッテ居ル、是ハ非常ニ身體ガ良クナル、私ハ昨年迄ハ毎日豆

ヲ食テ居ルガ非常ニオイシイ、「シヤム」米
ヤ何カラ使ヘバ五十萬「トン」位デアリマスガ、
豆ハ三百五十萬「トン」位、食ベタ後ニ肥料
ニナルノデアリマス、之ヲ農林省ハ又食ベ
ルナト、直チニ肥料ニシテ居ラレルガ、醬
油ニスルコトハナラヌ、味噌ニスルコトハ
ナラヌト云ッテ居ラレルガ、食ベタ後ニ、肥
料ニスレバ尙價值ガアルモノデアアル、一貫
匁ガ五百匁トカ六百匁位ニナル、ソレデ豆
粕其ノ物ハ蛋白ダケデモ四十一度モアル、
脂デモ五分モ七分モアル、殘ッテ居ル糖分ハ
澤山アルト云フ譯デ、之モナカ「ク」オイシ
イ、ソレデ豆ヲ米ニ混ぜテ炊イテモ、香ノ
上カラモ味ノ上カラモモウ殆ド變ラナイ、
是ハ私ガ多年ノ經驗カラシテモ安心シテ食
ベラレル、安心シテソレヲ勸メラレル、ソ
レガ段々普及サレル、併シ農林省ヘハ島田
農林大臣ニハ始終申上ゲテ、農林省デ御飯
ヲ炊イテ召上ッテ立派ダト賞揚サレテ居ル、
此ノ結果ハハ結構ナモノデアアル、ハ食
ヘルト云ハレタ、ソレデ此ノ食糧ノ大事ナ
際ニ之ヲ使ハサスト云フコトハ何タルコト
デスカ、斯ウ云フモノガアリナガラ之ヲ使
ハサヌ、大豆ヲ食ベサセテ見テ宜ケレバ之
ヲ内閣諸公ニモ一ツ食ベサセテ見テ、サウ
シテ一般ニ之ヲ普及スルコトガ必要ダト
思フト云フヤウナコトヲ言ウテ居ッタヤウ
ナ次第デアリマス、是ハ少シ御注意ヲ願
ヒタイノデス、モウ一ツ今ドウモ日本ニハ
池アリ、疏水ガアリ、又山ニモ富ンデ居リ
マスアレドモ、氣候ガ變化致シマシテ水ガ
足ラヌコトガアル、水ガ足ラヌデモ稲ヲ作
ルニ決メテ居ル、食糧ト云フモノハ實ニ是
ハ大キナ問題デアアル、ソレデアアルカラ農林
省ハ少シ實際ノニ目覺メテ、サウシテ十ノ

モノハ十作ラナイデ、其ノ中三割、四割ト
カハ或ハ薯ヲ作ルヤウニスル、薯ナント云
フモノハ比較的水モ少クテ済ムノデアリマ
スカラ、ソレヲチョット作ッダケデ四百貫
位出來ル、ソレデ一貫五錢カ七錢トシテ、
四百貫獲ッテモ市場ニ賣レバ、三十圓ノ値ニ
ナル、サウシテソレヲ作ッタ後ノ七割位ノ所
ニ稲ヲ作ルコトガ出來ル、斯ウ云フ風ニヤッ
テ行ケバ宜イト思フ、又肥料ガ足ラヌ足ラヌ
ト言ハレテ居リマスガ、是ハ肥料會社ガ皆買
取ッテ、農家ノ實際配給ノ必要ノアル者ノ手
ニ渡ラヌト云フヤウナ風デアアル、デアリマ
スカラ、ナカ「ク」ウマク行カナイ、是ハ大
イニ考ヘテ貰ハナケレバナラヌ、ノミナラ
ズ、此ノ肥料ト云フモノハ、何カ窒素カ燐
酸ガナケレバナラヌト云フコトデアアル
ガ、ナケレバ是ハ稲ノ水ヲ揚ゲテデモ、
皆ガヤル氣ニナレバ出來ルノデス、ソレニ
溜池ガ掘ッテアリマスカラ、其ノ邊ノ土ハ皆
硝酸ヲ吸ッテ窒素トナル譯デス、斯様ナモノ
デスカラ肥料ト云フモノハナカ「ク」貴イノ
デス、勿論努力ガ段々足ラナクナッテ、百姓
ガ皆勞働ヲ嫌フヤウニナレバサウ云フコト
ヲシナイコトニナルノデスガ、サウ云フコ
トモ御承知ニナッテ居ルト思ヒマス、ノミナ
ラズ今日ハ稲ヲ作リマシテモ御上カラノ御
獎勵ガアルケレドモ、稻カラ出來ル薯ヲ肥
料ニシナイ、大抵吹ッ拵ヘテシマフ、ソレ
デアルカラ途中デ土地ガ瘠セテ來テ有機物
ガナイニモ拘ラズ、其處ヘ又農家ハ麥ヤ其
ノ他ノモノヲ作ッタリ何カシテ居ル、斯ウ云
フコトデハイカス、ソレハ薯ヲ其ノ土地ノ
偶ニ置イタダケデモ立派ナ有機物が出來ル、
其ノ上ニ土ヲ被セテ置ケバ有機物ノ肥料ニ
ナル、是ハ百貫ノ薯ヲ燒ケバ五貫匁カ六貫

匁位ノ燒薯ガ出來ル、斯様ニシテ稻ヲフリ
マシテ、其ノ後ヲ寄セテ皆燒イテシマウト
云フコトニスレバ宜イ、ソレヲ村々デハ村
長モ何モ言ハヌ、縣廳モ何モ言ハヌ、又試
驗場モ何モ言ハヌ皆知ラヌ顔ヲシテ居ル、
農會モ尙更何モ言ハヌ、何デモナイヤウナ
コトガ續リ積ッテ六百萬町歩ノ米ガ一圓ヅ、
損ガ行ッテモ六千萬圓デアアル、是ガ二圓ヅ、
損ガ行ッタトシテモ二千萬圓デアアル、其ノ位
ノ效力ガアルカラシテ、是ハ少シ注意ヲス
レバ宜イノデス、或程度迄ハサウ云フ肥料
デ以テ補フコトガ出來ル、況シテヤ都會ニ
ハ肥料ガ澤山アッテ其ノ捨テ場ニ困ッテ居
ル、是ハ堆肥ナンカニシテ十分使ヘバ何千
萬圓モノ金ガ出テ來ルト思フ、其ノ金デ色
色ナ學校其ノ他ノモノガ出來ルト云フヤウ
ナ今日ハ狀態ニナッテ居ルノデアリマスガ、
是ハドウシマスカ、サウ云フ譯デ農家ニ知
慧ガ足りマセスカラ、豆粕モマア肥料トシ
テ、サウシテ牛ヤ馬ニ食ハシタダケデモ立
派ナモノガ出來、値モ二倍モ三倍モ上ル、
ソレデ軍用馬ナドモ今ハ瘦セ切ッテ居ルカ
ラ十分ナコトハ出來ヌガ、サウ云フ風ナコ
トニデモスレバ宜イト思フ、今内地ノ田ヲ
見テモ損ヲシテ居ルト云フヤウナ譯デア
ルノミナラズ斯ウ云フ狀態デハ立派ナ土地ガ
アッテ十分ヤレルノヲ米ヲ作ラナイ、又麥モ
作ラナイ、ソレヲ誰モ言ハナイ、縣廳ニ於
テモ言ハナイ、試驗場モ言ハナイ、農會ハ
尙更言ハナイ、ソレデ農民ハ勇氣ヲ持ッテカ
ラニ致々營々トシテ耕作ヲ進メラレテ居
ルガ、良イ方法ガアルノニ其ノ方法デヤル
コトガ皆出來テ居ラヌト考ヘテ居リマス、
甚ダ勝手ガマシイコトデスケレドモ、是ハ
モウ別ニ御答辯ニ及ビマセヌカラ、私ノハ

唯御願ヒ申上ゲテ置ク次第デアリマス
○政府委員(岸良一君) 只今多木サンカラ
増産ノ方法ナリ、農家ノ安定ノ方法ナリ、
或ハ食糧問題トシテ大豆ノ利用或ハ肥料ノ
問題トシテ大豆ノ確保トカ、或ハ土砂野芥ノ
利用ト云フヤウナコトニ付キマシテノ色々
御話ノアリマシタコトハ能ク拜聴致シマシ
タ、是等ノコトニ付テハ或ハ努メテ居ルモ
ノモゴザイマスシ、又是カラヤラナケレバナ
ラヌモノモアリマス、又肥料等ニ付キマシ
テハ、資材關係ノ方ヘ能ク御趣旨ヲ傳ヘテ
置キタイト思ヒマス
○松村眞一郎君 私ハ……
○委員長(伯耆黒木三次君) チョット松村
君ニ御注意申上ゲマスガ、昨日ノ下村委員、
織田委員カラノ資料ノ御要求ガゴザイマシ
テ、ソレニ對シマシテ岸政府委員カラ御答
辯ガアル筈デアリマス、デスカラ順序トシ
テ、ソレガ済ミマシテ後デ御願ヒ致シマス
○松村眞一郎君 承知致シマシタ
○政府委員(岸良一君) 昨日御申出ニナリ
マシタ資料ニ付テハ私共御手許ニ差上ゲタ
モノガ一部ゴザイマスガ、他ノモノニ付テ
ハ只今作成シテ居リマス、丁度紙ガ不足シ
テ速カニ出來ナカッタコトヲ御詫ビ致シテ
置キマス、次ニ昨日下村サンカラ御話ノア
リマシタ厚生省ノ立案ノ人口一億ノ増殖ノ
計畫ト此ノ増産關係デゴザイマスガ、之ニ
付テ此ノ機會ニ私共ノ考ヘテ居ル所ヲ申上
ゲタ方ガ御便宜デナカラウカト考ヘマスノ
デ、ソレヲ御話ヲ申上ゲタイト思フノデゴ
ザイマスガ、唯此ノ厚生省ノ數字ハ、……
企畫院ノ數字ハ是ハ發表スル譯ニ行カナイ
ラシイノデス、或ハ出來ルナラバ速記ヲ止
メテ御話ヲ申上ゲタイト思ヒマス

○委員長(伯爵黑木三次君) 速記ヲ止メテ
下サイ

(速記中止)

○委員長(伯爵黑木三次君) 速記ヲ始メテ

○佐藤助九郎君 先般私ハ法律第九十號ノ

委員會ニ於キマシテ空閑地利用ノ問題ニ付
テ、競馬場ト「ゴルフリンク」ノ現在ノ面積
ヲ御願ヒシテ置イタルデアリマスガ、尙其
ノ當時ハ出マセナシテ、此ノ機會ニ御
願ヒシタイト思ヒマス、斯ク執拗ク申シマ
スト甚ダ野暮タイヤウニ聞ヘルデアリマ
スガ、實ハ私ハ馬ト「ゴルフ」ハ人一倍好キ
ナノデゴザイマシテ、併シナガラ今日ノ競
馬ノ様子ヲ見マス、大體享樂的ナ、賭博
的ナ競走ヲヤツテ居ルデアリマシテ、現在
ハ軍用候補馬、耕馬ニ重點ヲ置イテ盛ニ飼
育ヲヤツテ居ル時代デアリマシテ、斯カル享
樂的ナ、賭博的ナモノハ或程度迄制限シテ
モ宜イモノダト思フデアリマス、先般藏
相ノ御答辯ニモアリマシタ通り、今地方ニ
於キマシテハ「フィールド」ハ殆ド耕サレテ居
リマス、併シナガラ大都會地ニ於テハ殆ド茫
漠ト草ヲ生シテ居ルヤウナ次第デアリマス、
是等ノ點モ篤ト御考ニナツテ當面ノ問題ヲ
解決シテ、當面ノ美田ニ著眼セナケレバナ
ラスト考ヘマス、又「ゴルフリンク」ノ問題
モ内部的ニモ之ヲ此ノ問題ヲ研究シテ見マス
ト云フ「ボール」ハ輸入品デアリマシテ、
輸入禁止ニナツテ居リマス、内地ニ於キマシ
テモハ製造出來マセヌ、斯ウ云フヤウナ
狀態デアリマシテ、殆ド是ハ停止狀態デア
リマス、ドウカ是等ノ資料ヲ是非御示ヲ願
ヒタイト思ヒマス

○政府委員(岸良一君) 只今御示ノ競馬場

「ゴルフリンク」ノ面積ハ出來ルダケ調べル
ヤウニ致シタイト思ヒマス、尙競馬場ノ内
部ハ相當其ノ中ヲ色々利用シテ居ル狀態デ
アリマス

○二瓶泰次郎君 此ノ農地法案ニ付キマシ
テハ、食糧増産上密接ナ關係ガアリマシテ
是ハ勿論適切ナ法案デアリマスルカラ、最
早議論ノ餘地ハナイデアリマス、唯此ノ
法案ハ農村ト非常ニ密接ナ關係ヲ持チマス
ノデ、唯内容ヲ能ク知ツテ置ク必要ガアルト
思ヒマス、一應其ノ意味ヲ御尋ネシタ
イト思フデアリマス、極ク簡單ニ御質問
申上ゲマスガ、第一ハ森林、原野、畑ノ買
入價格デゴザイマス、ドレ程ノ程度ニ御買
入ニナルカ、第二ハ造成シタル畑ノ賣却價格
ヲ御聽キシタイ、第三ハ適正經營規模、詰
リ一戸ニ對シテ畑何町歩、田何町歩ノ御見
込デアリマス、其ノ點ヲ伺ヒマス、第
四ハ農地管理令ノ發動ト本案トノ關係ニ
付テ御聽カセヲ願ヒタイト思フデアリ
マス、第五ハ十六年度ニ於、ケル開發計
畫、ソレカラ第六ハ十六年度收支豫定、
ソレカラ第七ハ入りマシテ本年度以降十
箇年計畫ニ依リマス重要食糧増産策ヲ樹立
致シマシテ、其ノ重要施設ヲ耕地ノ積極的
開發ニ置イテ居ルデアリマスガ、今後十
箇年ニ開發スベキ開田二十萬町歩、開畑三十
萬町歩、合計五十萬町歩ノ地方別ノ豫定ノ
面積デアリマス、第八ハ農地委員會ノコト
ニ付テ御質問申上ゲマスガ、從來農地委員
會ハ色々非難ノ的トナリマシテ、色々之ニ對
シテ議論ガアツタデアリマスガ、今回御當
局ノ色々從來ノ不備ナ點、或ハ批評ノ的
トナリマシタ點ニ對シテ十分御考慮ニナリ
マシテ、之ガ改善ヲサレタヤウニモ聞イテ

居ルノデゴザイマスガ、大體第一ハ其ノ機
構、第二ハ構成ノ人的要素、第三ハ其ノ機
能ト權限ハドウ云フモノデアルカ、第四ハ
小作料ノ減免ハ勿論ノコト、農地管理令ニ
付テモ此ノ委員會ニ御諮リ下サルノカドウ
カ、此ノ點ヲ御聽キ致シタイノデアリマス、
次ニ第九ハ是ハ甚ダシツコイユデアリマ
シテ、私ノ方デモ氣ノ毒ニ感ズル次第デア
ルデアリマスガ、此ノ法案ヲ最終ノ美ヲ
濟サシムル意味ニ於キマシテハ、ドウシテ
モ此ノ努力ト肥料ト云フモノヲ考ヘナケレ
バナスト思フデアリマスガ、此ノ努力、
肥料ニ付キマシテハ過般來色々御質問モア
リ、又御答辯モアリマシテ大體了承致シテ
居ルデアリマス、ドウモ私ノ考ヘマスニ
ハ、御當局ト致シマシテハ少シ樂觀シ過ギ
テ居ルノデハナイカト考ヘルデアリマス、
實際農村ニ於キマスル現在ノ努力ノ不足ト
云フモノハ誠ニ深刻デアリマシテ、米穀應
急ノ法案ノ際ニモ私ハ申上ゲタルデアリマ
スルケレドモ、色々ノ方面カラ努力ト云フ
モノノ不足ヲ來シ、軍需工業ノ方面ニモ行
ケバ或ハ滿洲ノ方面ニモ行クト云フヤウナ
譯デ、實銀ノ差ガ非常ニ軍需工業方面、或ハ
內務省事業關係ト比較シテ幅ガアルデア
リマスカラ、ドウシテモ此ノ方面ニ流レテ
行クト云フヤウナコトデ、非常ニ困憊ヲ致
シテ居ルデアリマスガ、此ノ點モ相當心
配ヲ致シテ居ルデアリマス、而シテ又肥
料ノ點ニ於キマシテモ御當局ノ御説明デハ
確信ガアルト、斯ウ云フ御話デゴザイマス
ケレドモ、是モ現在ノ實情カラ見マス、段
段耕地ガ澤山出來テ來ル、一方又荒レ果
テ、來ルト云フヤウナコトニナリマシテハ、

是コソ此ノ法案ノ設立ノ意味カラ見マシテ
誠ニ寒心スベキ狀態ニナリマス、此ノ
努力、肥料ニ付テハ最早申上ゲル迄モナイ
ノデアリマスガ、十分御考慮ヲ願ヒタイト
云フコトヲ特ニ申上ゲルデアリマス、是
ハ農村關係ト致シマシテハ此ノ法案ヲシテ
有終ノ美ヲ濟サシメタイト云フ誠意ヨリ心
配ヲ致スノデアリマシテ、此ノ點特ニ御了承
ヲ願ヒタイト思フデアリマス、ソレカラ十
ト致シマシテ、近頃新聞紙上ヤ其ノ他ノ人々
ノ話ニ依ツテチヨイ／＼耳ニ致スノデアリマス
ケレドモ、農業團體ノ統合問題デアリマス、
今回議會ニハ此ノ法案ノ提出ハ見合セルコ
トニナリマシタケレドモ、國家總動員法ノ
發動ニ依ツテ此ノ統合ガ出來ルデアルト
云フヤウナ、色々ノ取沙汰モアルデアリ
マス、併シ是ハ最モ必要ナコトデゴザイマ
シテ、我々モ此ノ團體ノ統合ノ一元化ニ依
リマシテ、總テノ政策ヲ最モ簡明ニ且有效
的ニ進メテ行クト云フコトノ必要ノコトハ
考ヘテ居ルデアリマスガ、併シナガラ此
ノ統合ト云フコトハ餘程御考慮ヲ願ハナケ
レバ却テ惡結果ヲ及スノデハナイカ、寧ロ
私ノ考ト致シマシテハ、現在ノ狀態ニ於キ
マシテモ其ノ農業團體ノ運用宜シキヲ得マ
スルナラバ、政府ノ御期待ニモ副ヒ、又國
策ニ協力スルニ相當十分デアルト云フヤウ
ナ考ヲ持ツテ居ルデアリマス、此ノ點モ特
ニ御考慮ヲ願ヒタイノデアリマス、十一ハ
今回御當局ノ非常ナ御努力ニ依リマシテ、
食糧増産目的ノ爲ニ三千萬圓ト云フ多額ノ
追加豫算ヲ御認メ下サツタト云フコトヲ聞
イテ居ルデアリマスガ、之ニ對シマシテ
ハ色々農業團體方面カラ見マス、ト云フト、
過般モ大臣ニヨク御願ヒ致シタルデアリマ

スガ、現在ノ各町村ノ技術員ノ狀態ハ到底此ノ非常時局下ニ於キマスル大ナル仕事ノ實際的運用ト云フモノハ爲シ得ナイ實情ニアル譯デアリマス、是非共技術員網ノ擴充ヲ圖リマシテ、一萬二千ノ町村ニ一名宛ノ技術員ヲ増員スルト云フコトニ對シテ是非御考慮ヲ願ヒタイ、斯ウ思フノデアリマス、是ハ私勝手ノ見込カモ知レマセヌガ、假ニ一萬二千ノ町村ニ年六百圓ノ俸給ヲ與ヘル技術員ヲ一名ヅ、置イタト致シマスルト、約七百二十萬圓アレバ間ニ合フノデアリマス、篤農家ヲ一箇町村五名ヲ置キマシテ、ソレニ五十圓ヅ、與ヘルモノトシテモ是ハ先ヅ三百萬圓、部落農業團體ヲ大體十五萬ノ團體ト見マシテ、ソレニ百五十圓與ヘルトシテ二千二百五十萬圓、合計致シマシテ約三千萬圓デアリマスカラ、十分是等農業團體ノ熱望スル技術員一名ヲ常置スル、其ノ他食糧増産ニ直接關係ノナイ施設ヲ全ウスルコトガ出來ル、斯ウ云フ風ナ私勝手ナ考デゴザイマスガ計算致シテ居ルノデアリマスガ、是非共是ハ農林省ト致シマシテモ、私ガ申上グル迄モナク技術員ノ増設ト云フコトハ各方面カラ陳情其ノ他熱望セラレルコトト思フノデアリマス、是非此ノ點ニ對シマシテハ、御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツ最後ニ申上ゲテ置キマスコトハ是ハ特ニ御願ヒシタイト思フ、ソレハ近頃翼賛會ノ生活指導部ノ方面カラ各縣ニ參リマシテ「ブロック」的ニ食糧ノ増産、或ハ節米ト云フコトニ付テ協議ヲ開イテ、農會其ノ他ノ産業團體ノ方々ガ集ッテ貰ハウト云フ要求ガアルヤウデアリマス、ソレニ對シテ各縣ノ農會長並ニ産業團體ノ長ノ方々ハ相當不滿ヲ持ッテ居ルヤウ

デアリマス、現ニ縣ニハ農務課ト云フモノガアリ、農會ト云フモノガアリ、其ノ他産業團體ト云フモノガアリマシテ、本來ノ使命ニ向ッテ忠實ニ國策ニ對シテモ努力ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、ソレヲ横合カラ入ッテ參リマシテ色々ノコトヲヤルト云フコトハ、ドウモ心證ヲ非常ニ害スルノデアリマシテ、農會其ノ他産業團體ヲ搔分ケテ先ニ進ム、先行スルト云フヤウナコトハ誠ニ是ハ地方的ニモ、又實績ヲ上グル上ニ於キマシテモ遺憾ノ點ガ多イノデアリマシテ、船頭多クシテ船山ニ登ルト云フヤウナ感ガアルノデアリマス、是ハ本日農會長ノ協議會ヲ帝國農會内ニ於テ開催致シテ居リマスルガ、殆ド此ノ話デ持ッテ居ルノデアリマス、本日道府縣農會長ノ協議會ニ於キマシテ、聲明案ト致シマシテ斯様ニ聲明ヲ致シテ居ルノデアリマス、「食糧ノ増産確保ハ高度國防國家絕對ノ要件ナリ、系統農會ハ政府ノ悉ユル施策ヲ集中活用シ農業諸團體ト相携ヘ愈々總力ヲ傾注シ刻下ノ喫緊ノ要請ニ應ヘンコトヲ期ス、右聲明ス」ト云フヤウナ聲明ヲ本日致シテ居ルノデアリマスルガ、斯様ナ狀態デアリマシテ、殆ド系統農會ハ各縣共熱心ニ食糧増産ニ努力ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、殆ド他ヨリ色々ノ御指導ヲ俟ツ迄モナク自體ガ其ノ責任ノ重大ナルニ鑑ミマシテ、國策ニ協力スルコトニ向ッテ一路邁進ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、此ノ翼賛會ノ今回ノ食糧増産又ハ節米ト云フモノニ對スル色々ノ仕事ト云フコトハ、餘程是ハ考ヘネバナラスコトデアルト思フノデアリマス、若シオヤリ下サルト云フナラバ、能ク縣廳又ハ本來ノ使命ヲ持ッテ居リマスル農業團體ニ連絡ヲ致シマ

シテ、サウシテ是等ノ團體ヲ主ト致シマシテ、サウシテ是等ノ團體ト協力ヲシテ、増産又ハ節米ト云フモノニ力ヲ致スト云フコトデアリマスレバ、是ハ誠ニ結構ナコトデアリマスルガ、本來ノ使命ヲ持ッテ居リマスル農會其ノ他産業團體ノ先ヲ越シテ、詰リ先行シテ仕事ヲシヨウトスルト、ソコニ非常ナ齟齬、衝突ヲ來スノデアリマス、是ハ將來ノ爲ニ考ヘマシテ翼賛會ノ爲デモアリマセヌシ、是非共斯ウ云フ點ハ農林當局ト致シマシテモ御考ヲ願ッテ、斯ウ云フコトノナイヤウニ御願ヒシタイト思フノデアリマス、勿論今回ノサウ云フ協議會ヤナシカニ付キマシテ農林省トノ連絡モ、大體ニ於テナイノデヤナイイカト私ハ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、ナイトスレバ是ハ尙更ノコトデアリマシテ、斯ウ云フコトノナイヤウニ地方ノ飽ク迄モ専門的ニ仕事ヲシテ居ル者ハ専門的ノ使命ト云フモノガアリ、又經驗モアリ、其ノ方ニハ堪能ナ者デゴザイマスカラ、斯ウ云フ者ニ先ヲ越サヌヤウニ、ソコハ協力シテ總テノ目的ヲ達スルヤウニ御指導ヲ戴キタイト、斯ウ考ヘルノデアリマス、以上ヲ申上ゲマシテ私ノ質問ヲ終リマス

○政府委員(岸良一君) 御尋ニ相成リマシタ最初ノ問題ハ素地ノ購入ノ價格デアルト存ジマスガ、是ハ建前ト致シマシテハ勿論時價ニ依ルト云フ譯デアリマス、デ其ノ大體ハ衆議院デモ申上ゲタノデアリマスガ、大體ノ目安ト云ツヤウナモノハ山林原野ニアッテハ段當百三圓、是ハ勿論色々御質問モ衆議院デゴザイマシタガ、立木ト離レテ考ヘテ百三圓、畑ヲ二百八十八圓ト云フヤウナ見込ヲ付ケテ居ルノデゴザイマス、之ニモ色々場合ガアルト思フノデアリマス、從ヒマシテ其ノ實際ノ取扱ニナリマス、或ハ沼澤地ヲ埋立ラスルトカ、或ハ全クノ原野ヲ畑ニスルトカ、色々「ケース」ガアリマスカラ、一概ニドノ位經費ガ掛ルト云フコトハ申上ゲ難ネマスガ、是等ヲ開墾シテ原野ヲ畑ニスルモノモアルシ、或ハ更ニ進ンデソレヲ水田ニスルモノモアリマス、畑ニアリマシテハ之ヲ田ニスルモノモアリ、此ノ計畫ニ於キマシテモ畑カラ田ニスルモノガ約十萬町歩ニナルコトデアラウト考ヘマス、サウ云フモノモアリマス、是等ヲ附合セマシテ營團ノ計畫デハ大體田ヲ三百七十圓程度、ソレカラ畑ノ方百九十圓程度デ販賣シヨウト、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ル譯デアリマス、此ノ値段ヲ時價カラ較ベルトドウカト申シマス、平均ノ時價カラ致シマスレバ遙カニ安イ所ヲ狙ッテ居ル譯デアリマス、勿論工費全部掛ケマスレバ高クナルノデアリマスガ、營團ノ仕事ガ大體餘計掛ッテモヤラウト云フヤウナ公益性ノ強イモノデアリマスノデ、サウ云フヤウナ點ニ付テハ特別ニ之ニ依ッテ金ヲ儲ケヨウト云フ考ヘ方デナイノデアリマス、事業費ノ掛ルモノニ付テ助成ヲ貰ッテ、サウシテ賣價ヲ成ルベク引下グルヤウニスル、斯ウ云フ風ニ致サウト云フ譯デアリマス、是ハモウ既ニ總動員審議會ニ於テ要綱ダケ決ッテマダ實施ニナッテ居リマセヌガ、森林等ノ價格統制ニ關スル勅令ガ出ルト思ヒマスガ、ソレガ出來マスレバソレニ依ッテ統制ヲ受ケルコトニナッテ、讓受價格ニ付テハ地方長官ノ認可ヲ受ケルコトヲ要スルト云フコトニナルト思ッテ居リマス、其ノ範圍ニ依ッテ適正ヲ得ルヤウニシテ購入スル、ソレカラ

畑ハマア勿論農地價格ノ統制令ノ適用ヲ受ケルコトニナリマシテ、ソレニ依テ決メラレマシタ最高價格ノ範圍内デ話ヲ付ケル、サウ云フコトニナルト思ヒマス、ソレカラ其ノ次ニ土地ヲ自作人等ニ賣ル場合デゴザイマスガ、是等ノ價格ニ付テモ臨時農地價格統制令ノ適用ヲ受ケルコトニナル譯デゴザイマス、是等ニ付テハ色々ノ場合ガ生レテ來ルノデハナイカト思ッテ居リマス、普通ニ行ケバ其ノ地方デ認メラレタ最高ノ價格、其ノ範圍内デ處分ガ出來ルナラ是ハ問題ハナイノデアリマス、處ガ免租年期ガ付イテ居ルヤウナ場合サウ云フヤウナ一定ノ地域ニナルト、是ハ又其ノ狀態ガ變ッテ來ルモノモアルシ、又工事實ガ非常ニ掛ッテ、ドウモナンボ勉強シテモ只今申上ゲタ平均ノ値段デ賣レナイト云フコトニナリマスレバ、此ノ問題ニ付テハ或ハ個々ノ場合デアレバ地方長官ノ認可ヲ得ル、又場合ニ依ッテハ非常ニ廣イ面積デアレバ其ノ地方ニアル率ト違ッテ率ヲ決メテ貰ッテ、其ノ範圍ニ於テヤル、斯ウ云フヤウナ價格等統制令ノ施行ヲヤッテ行カケレバナラヌト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、サウ云フ風ニシテ矢張り其ノ適用ノ範圍内ニ於テソレノ價格ヲ決メテ、適正ヲ得ルヤウニシテ行キタイ、斯ウ云フ點ハ自作農創定ニ於キマシテハ勿論自作農ガ立チ行クヤウニシ拂下ダルト云フヤウニシテ行キタイ、又自作農ノ創定維持ト云フコトニ付キマシテハ地價ノ算定ノ方法等モアリマスノデ、勿論ソレヲ脱逸シナイト云フコトニ致シテ行カケレバナラヌト、斯ウ考ヘテ居リマス、即チ十分自作農ノ立チ行クヤウニシテ仕事ヲシテ行ク、斯ウ云フ考ヘ方ヲシテ行キタイト思ッテ居

リマス、ソレカラ昨日以來議論ノアリマシタ適正經營ノ問題デアリマス、是ハ色々ノ見方ガアルト思ヒマス、昨日大臣モ色々申上ゲマシタヤウニ、東北ノ方へ行ケバ面積ガ廣ク、關西へ行ケバ小サクナル、是ハ現在モ其ノ通りデアル、併シドチラモ平均致シマシテ三町歩位ナモノデアレバ多クノ地方ハ宜イデヤナイカ、是ハマア色々ノ決メ方ガアリマス、地方ノ事情ニ依ッテ田畑ノ組合セモ色々考ヘラレマスガ、マア畑ヲ二町歩、田ヲ一町歩ト云ッタヤウナ形デ考ヘテ、ソレヲ標準ニシテ、或場合ニ於テハ或ハ他ニ相當仕事ガ澤山アルヤウデアレバソコニ努力ヲ出シテ行ク、生計ヲ保ツニ必要ガナケレバ三町歩ヲ考ヘナクテモ宜イ、斯ウ云フヤウニ場合々々ニ依ッテ考ヘマスガ、一應基準ヲサウ云フ風ニ考ヘマシテ、サウシテ此ノ開墾スル土地ニ自作農ヲ入レル、其ノ自作農ハ營團ノ仕事デ五萬戸、ソレカラ從來ノ開墾助成法デアッテ參ッテ、自作農創設ノ仕事デアッテ參ルモノガ一萬五百戸、合計六萬五百戸ヲヤッテ行キタイト、斯ウ云フ考ヘ方デ進ンデ居リマス、ソレカラ十六年度ノ收支デアリマス、十六年度ノ收支ニ付キマシテハ大要此ノ營團ノ施行スル事業、十六年度ニ完成スルト云フ意味ダナクシテ、十六年度ニ著手スル仕事ト云フ風ニ一ツ御考ヘ下サッテ宜イト思ヒマスガ、十六年度ニ著手シテ行ク仕事ニ付キマシテハ開墾地ヲ賣却スル代金ト、政府ノ補助金トガ主ナ收入ニナル譯デアリマス、此ノ外マア勿論耕地改良ヲヤリマス地區ニ於ケル納付金ノ問題デアルトカ、或ハ利息デアルトカ言ッタイヤウナモノモゴザイマスガ、是等ノ合計ガ一億七千四百七十四萬圓程ニナリマス、

之ニ對シマシテ支出ト致シマシテハ、土地ノ收買費ガ七千二百六十七萬圓、ソレカラ開墾等ノ事業費ガ七千二百九十萬圓、是ガ支出ノ主ナモノデアリマス、ソレデアリマスカラ他ノ三千萬圓程ノモノハ或ハ事務費デアルトカ、或ハ社債ノ利子デアルトカ、或ハ補償豫備費デアルトカ、斯ウ言ッタモノニナル譯デアリマス、大體サウ云フ風ナ考ヘ方ヲシテ居ル譯デアリマス、ソレカラ十箇年間ノ耕地ノ開墾地方別ノ面積、斯ウ云フ御尋デゴザイマシタガ、之ノ初年度著手ノ資料ハ御手許ニ差上ゲテアルノデ、ソレデ御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス、十箇年ノ分ニ付キマシテハ、是ハ更ニ檢討シテ見タイト思ッテ居リマス、其ノ次ハ道府縣農地委員會ノ機構、ソレカラ機能、權限ト言ッタイウナ御話デゴザイマシタガ、農地ノ委員會ハ第一ニ農地調整法第四條ノ事業ニ關スル調査、審議、斡旋、是ハ自作農創設ノ分デアリマスガ、此ノ點ニ於テ農地開發ノ仕事トモ關係ガゴザイマス、ソレカラ其ノ次ハ農地調整法第六條ノ自作農ノ創設維持ノ事業ニ關スル調査、審議、斡旋、ソレカラ小作關係其ノ他農地ノ利用關係ニ關スル斡旋並ニ爭議ノ防止、其ノ他農地上ノ改善ニ關スル事項及農地開發ニ關スル調査、農林大臣ノ定ムル事項、斯ウ云フヤウニ最後ハ關係ニ於テ今回ノ農地開發ニ付キマシテ意見ヲ聽クト云フコトニ相成ルノデアリマス、地方ノ農地委員會ノ構成ニ付テハモウ御承知ノコトデアラウト思ヒマスノデ省カセテ戴キマス、ソレカラ管理令ノ關係ニ付キマシテハ臨時農地管理令第八條デ耕作ニ對シ勸告スル場合トアリマス、是ハ耕作命令ヲ出ス場合ノ前提デゴザイマス、第八條ニ、地方長官ガ必要アリ

ト認メル時ニハ道府縣農地委員會又ハ市町村ノ農地委員會ヲシテ、農地ノ權利者ニ對シテ其ノ農地ノ耕作ニ關シテ勸告セシメルコトガ出來ルト云フ、斯ウ云フヤウナ仕事ヲヤルコトヲ考ヘテ居ルノデゴザイマス、其ノ意味ニ於テ農地委員會ガ農業増産ニ關係ヲ持ッテ居ル譯デゴザイマス、ソレカラ勞力ト肥料ノ問題ニ付キマシテハ御心配戴ク通りデゴザイマシテ、私共モ樂觀ヲシテ居ルト云フ問題デハゴザイマセス、一層考ヘナケレバナラナイ、サウシテ十分現狀ニ於テ工夫ヲシナケレバナラヌ、又ソレデモ足リナイ場合ニハドウスルカト云フコト迄考ヘテ置カナケレバ、此ノ食糧確保ノ計畫ヲ完遂スルコトガ出來ナイト云フコトニ考ヘテ居リマスルガ、先日來衆議院等ニ於テ御話致シテ居ルノデゴザイマスルガ、農地開發ノ初年度ノ仕事ヲ致シマスニ付テ、是ハ延人員二千二百萬人、現在ノ各種ノ農業土木關係ノ仕事ヲ全部致シマスル人ヲ加ヘマスルト、十六年度ニ於テハ六千九百萬人居延人員ガ要ル譯デゴザイマス、是等ハ農村ニ於ケル農家ニアル所ノ勞力ノ延人員ニ較ベルト非常ニ僅カナ量ニナリマスルノデ、其ノ餘剩勞力ヲ活用出來ル時期ヲ選ブ、サウシテ其ノ餘剩勞力ヲ活用スルト云フコトニ根本的ノ著眼ヲ置イテヤレバ宜イノデヤナイカ、大體調ベテ見マスルト、六月ノ月ハ是ハ何處モ勞力ガ非常ニ多ク要ル狀態ヲ示シテ居リマスガ、秋ノ末カラ冬分ニ掛ケマシテハ勞力ガ非常ニ剩ッテ居ル實情デアリマス、此ノ多クノ農業土木ノ仕事ハ其ノ農閑期ヲ利用シテヤルト云フコトニ重點ヲ置イテ、サウシテ冬期ノ餘剩勞力ヲ活用スルト云フコトデ行キタイ、併シ勿論ハ地域的

ニ東北、北海道ト云フ所ニ於テハ事情ガ違ヒマス、又開墾等ニ依ッテハ夏ノ内ニヤラナケレバナラヌト云フモノモゴザイマス、ソレ等ニ付キマシテハ、豫メ分付ノ計畫ヲ以テ將來自作農トシテ定著スルヤウナモノヲ部落カラ分ケテ、是ハ外ノ部落カラ來テモ宜シウゴザイマスガ、ソレヲ定著サシテ、ソレニ依ッテ仕事ヲ進メテ行ク、サウ云フコトヲ根本的ニハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、半分位ノ勞力ハソレニ依ッテ得ル、其ノ外ニ勿論家畜ヲ利用シ、又廣イ所ニ依ッテハ機械力ヲ利用スル、是等ノ期待ヲ相當ニ有シテ居リマス、ソレカラ尙夏季等ニ於テ勞力ガ不足スルト云フ時期、或ハ地方的ニ默ッテ努力ヲスレバ出來ルト云フヤウナ事情ノ所ニ於キマシテ、現在ノ勤勞奉仕ノ組織ヲ活用シテ之ヲ補フ、又所ニ依ッテハ學生或ハ青年團ト云ツヤウナ者ノ組織的ノ活用ニ依ッテ行ク、斯ウ云フ風ナコトニ依ッテ行ケルダラウ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ル譯デアリマス、色々先日來御話ヲ承ッテ居リマス、農村ノ勞力ノ調整ノヤリ方如何ニ依ッテハ、生レテ來ルヤウナ餘地ハアルヤウニ見受ケラレマスノデ、其ノ點ハ只今實際ノ問題トシテ既ニ實行ノ研究ヲサレテ居リマス、ソレカラ肥料ノ問題ハモウ色々ノ機會ニ御話ガ出タト思ヒマスガ、此ノ計畫ト並行シテ進行シテ居リマスノデ、必要ガアリマスレバ、關係ノ方ニ御話ヲ願フヤウニ致シマス、農業團體ノコトハ總務局長ガ居リマスカラ、總務局長カラ御話ガアリマス、ソレカラ衆議院デ御希望ノアリマシテ食糧自給強化ニ關スル所ノ助成増額ノ問題ニ付キマシテハ、御希望ノ點承ッテ、サウシテ研究シタイト考ヘテ居リマス、ソ

レカラ翼贊會ノ生活指導部ガ地方ニ出テ増産ノ運動ヲヤツテ居ルト云フノデ、色々非常ニ御迷惑ガアルト云フコトデアリマシタガ、是等ニ付キマシテハ過般衆議院デモ御質問ガアリマシテ、大臣ヨリ御話申上ゲタノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ總務局長カラ御話ヲ願フコトニ致シマス

○政府委員(周寅英雄君) 私チヨット用ガアリマシテ他ニ行ッテ居リマシタノデ、御質問ヲ承ッテ居リマセヌノデ、或ハ答辯ガ違ヒマシタラモウ一遍アトデ御話ヲ願ヒマス、大體私ニ任サレマシタ答辯ノ一ツハ農業團體ノ統合ヲ中止シタガ、ソレハ總動員法ノ發動ニ依ッテ團體ノ統合ヲスルノカト云フ御質問デアラウト思ヒマス、御案内ノヤウニ農業團體ノ統合ハ色々ナ事由ニ依リマシテ、本議會ニハ提案スルコトヲ中止致シタノデアリマス、併シナガラソレハ總動員法ノ改正ニ依リマシテ總動員法デアルノカト云フ御尋ニ對シマシテハ、ソレハ考ヘテ居リマセヌト云フコトヲ申上ゲルノデアリマシテ、ソレハ總動員法ニ依ッテ考ヘテ居ラスト云フコトノミナラズ、實ハ總動員法ノ規定ニ依リマシテハモト考ヘテ居リマシタヤウナ農業團體ノ統合ハ出來マセヌノデゴザイマス、例ヘバ農會トカ、産業組合ト云フモノヲ全部止メテ、新シイ團體ヲ作ルト云フ、モト考ヘテ居リマシタヤウナ新シイ團體ヲ作ルト云フコトハアノ法律ニ規定ガゴザイマセヌ、唯必要ガアルトスレバ農會ナリ、産業組合ト云フヤウナ既設ノ農業團體ヲ其ノ儘組織員ト致シマシテ、統制ヲ目的トスルヤウナ團體ヲ作ルト云フコトハ或ハ出來ルデヤナイカト思ヒマス、其ノ場合ハ何處迄モ農會デモ産業組合デモ、其ノ他ノ農

業團體ハ組織員トシテ殘ルノデアリマシテ、從來考ヘテ居リマシタヤウニ、從來ノ形ニ於テデハナクテ、新シイ農業團體ガ出來ルト云フヤウナコトハ、總動員法デハ出來ナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ第二番目ノ御尋、翼贊會等ガ地方ヘ出テ食糧増産ノ指導等ヲ行ッテ居ルガ、ソレハ適當カト云フ御尋ダト思ヒマス、之ニ對シマシテハ只今農政局長カラ申上ゲマシタヤウニ衆議院ニ於キマシテモ質問ガ出マシタガ、農林省ニ於キマシテハ現時局下ニ於キマシテ食糧ノ維持確保、増産ヲ圖ルト云フコトハ農林省ノ重大ナ責任デゴザイマス、是ガ立派ニヤツテ行カレルカ、行ケナイカ、行ケナイモノニ付キマシテハ農林省ハ一番其ノ責任ヲ持ッテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ計畫ノ綜合計畫ノ樹立ト云フコトニ付キマシテハ、農林省ガ中心トナッテソレヲ立テ

ル、ソレヲ實行スルニ付キマシテハ、各府縣廳トモ密接ナ連絡ヲ執リマシテ、更ニ農業關係團體等ヲ連絡機關ト致シマシテ、實際ノ指導ニ當ッテ行ッテ貫ハナケレバナラヌト、斯様ニ考ヘテ居リマス、勿論斯カル場合ニ於テ關係農業團體ハ勿論ノコト、大政翼贊會ト云フモノガ政府ト密接ナ連絡ノ下ニ増産ノ計畫ノ指導ナリ、精神的動員ヲ致シマシテ激勵、指導シテ行クト云フコトハ、是ハ望マシイコトデアリマス、併シソレハ常ニ政府ト密接ナ連絡ヲ執ッテ、各、其ノ計畫ニ基イテ職務分擔ヲ致シテ、實行シテ行クヤウニ努メタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス、此ノコトハ言葉ノ表現ハ違ヒマスガ、大臣ガ衆議院ノ委員會ニ於テ申述ベタ通りデアリマス、又ソレ等ヲ實行致シマスニ付キマシテ農業技術ノ指導ニ關シマシテハ、從來

カラ農業技術ノ指導ノ中心團體デアル絲統農會等ガ其ノ中核ヲ成シテ、之ニ篤農家等ヲ配シテ指導ノ萬全ヲ期シタイト云フコトニ付テハ、農林省ハサウ云フ風ニ考ヘテ實行ヲ進メテ居リマス

○二瓶泰次郎君 農業團體ノ統合問題ハ私斯ウ云フ意味ナノデゴザイマス、無理ナ農業團體ノ統合ヲスルヨリモ寧ロ現状ノ儘デ其ノ運用宜シキヲ得テ方ガ效果的デアル、斯ウ云フ意味デアリマス、ソレカラ此ノ翼贊會ノ方デゴザイマスガ、是ハ能ク局長サン御聽ニナラナカッタト思ヒマスガ、近頃此ノ指導部ト申シマスガ、翼贊會ノア、云フ方面カラヤツテ來マシテ、農會關係集レ、誰ガ集レト云ッテ協議會ミタイナモノヲ開キマシテヤリマス、サウスルトドウモ本來ノ使命ヲ持ッテ居リマス農會トカ、或ハ他ノ産業團體ガドウモ先ヲ越サレタヤウナ氣ガ致シマシテ、非常ニ折合ガ惡イノデアリマス、本日モ此ノ農會ガ帝國農會ニ集ッテ、協議會ヲ開イテ居リマスガ、其ノ話ニ花ガ咲イテ居ルノデアリマス、ドウモ翼贊會ノ將來ノ爲ヲ考ヘマシテモ、矢所リ本來ノ使命ヲ持ッテ居リマス農會其ノ他ノ産業團體ニ對シテハ、其ノ方面デ十分ニ本來ノ使命ヲ果サセルヤウニシテ、翼贊會ノ方ハ之ト協力スルトカ、或ハ補助機關トシテノ活動ヲスルトカ云フヤウニ、本末ヲ顛倒シナイヤウニシテ戴キタイ、サウデナイト非常ニ翼贊會ト農會トノ間ニ相剋摩擦ガ起ル、之ヲ虞レタモノデアリマスカラ、之ヲチヨット申上ゲタ譯デアリマス、今後翼贊會ガ地方ヘ參リマシテモ、サウ云フ方面デ有ラニル産業團體ナドヲ指導スル時ニハ翼贊會ノ爲デモアリマスルシ、能ク御注意ヲ願ヒマシテ、農會ハ農會ノ使

カニ東北、北海道ト云フ所ニ於テハ事情ガ違ヒマス、又開墾等ニ依ッテハ夏ノ内ニヤラナケレバナラヌト云フモノモゴザイマス、ソレ等ニ付キマシテハ、豫メ分付ノ計畫ヲ以テ將來自作農トシテ定著スルヤウナモノヲ部落カラ分ケテ、是ハ外ノ部落カラ來テモ宜シウゴザイマスガ、ソレヲ定著サシテ、ソレニ依ッテ仕事ヲ進メテ行ク、サウ云フコトヲ根本的ニハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、半分位ノ勞力ハソレニ依ッテ得ル、其ノ外ニ勿論家畜ヲ利用シ、又廣イ所ニ依ッテハ機械力ヲ利用スル、是等ノ期待ヲ相當ニ有シテ居リマス、ソレカラ尙夏季等ニ於テ勞力ガ不足スルト云フ時期、或ハ地方的ニ默ッテ努力ヲスレバ出來ルト云フヤウナ事情ノ所ニ於キマシテ、現在ノ勤勞奉仕ノ組織ヲ活用シテ之ヲ補フ、又所ニ依ッテハ學生或ハ青年團ト云ツヤウナ者ノ組織的ノ活用ニ依ッテ行ク、斯ウ云フ風ナコトニ依ッテ行ケルダラウ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ル譯デアリマス、色々先日來御話ヲ承ッテ居リマス、農村ノ勞力ノ調整ノヤリ方如何ニ依ッテハ、生レテ來ルヤウナ餘地ハアルヤウニ見受ケラレマスノデ、其ノ點ハ只今實際ノ問題トシテ既ニ實行ノ研究ヲサレテ居リマス、ソレカラ肥料ノ問題ハモウ色々ノ機會ニ御話ガ出タト思ヒマスガ、此ノ計畫ト並行シテ進行シテ居リマスノデ、必要ガアリマスレバ、關係ノ方ニ御話ヲ願フヤウニ致シマス、農業團體ノコトハ總務局長ガ居リマスカラ、總務局長カラ御話ガアリマス、ソレカラ衆議院デ御希望ノアリマシテ食糧自給強化ニ關スル所ノ助成増額ノ問題ニ付キマシテハ、御希望ノ點承ッテ、サウシテ研究シタイト考ヘテ居リマス、ソ

命モアリマスルシ、其ノ點ハ農會ノ使命ト云フモノニ對シテハ農會ニヤラセテ、サウシテ翼賛會ト云フモノハ協力スルト云フヤウナ立場ニ立ツタ方ガ寧ロ宜イノデハナイカト、斯ウ考ヘルノデアリマス、其ノ點ヲ申上ゲタノデゴザイマシタ

○政府委員(周東英雄君) 只今御答ヲ申上ゲタノデ御分リカト思ヒマシタノデスガ、御話ノ通りニ農林省ハ考ヘテ居リマス、只今申上ゲマシタヤウニ食糧増産ニ付テノ農業技術上ノ指導ト云フ事柄ニ關シマシテハ、農林省ハ何處迄モ從來カラ其ノ指導ノ中核團體デアアル系統農會ヲ中心ニシテ、ソレニ篤農家等ヲ配シテ萬全ヲ期シテ行キタイト、斯様ニ思ッテ總テノ方針ヲ進メテ居リマス、但シ大政翼賛會ト申シマシテモ、是ハ矢張り政府ト相表裏一體ニナッテ、政策ノ上意下達ヲヤルト云フコトニナッテ居リマスルシ、從ッテ政府ノ立テマシタ綜合計畫ニ基キ其ノ意ノアル所ヲ地方ニ傳ヘタイト云フヤウナ事柄ニ付キマシテハ、概括的ニ援助ヲシテ戴クト云フコトハ、是ハヤッテ行カナケレバナラスト思ッテ居リマス、何處迄モ各、其ノ仕事ノ分擔ニ應ジテ中心タル農林省ト連絡ヲ執ッテヤッテ戴ク、斯様ニ計畫ヲ立テ、實行ヲ進メテ居ル次第デアリマス、是ハ御安心ヲ願ヒタイト思ヒマス

○二瓶泰次郎君 有難ウゴザイマシタ、私ノ質問ハ是デ終リマス

○佐藤助九郎君 只今二瓶委員カラ農地管理令ノコトニ付テ御質問ガアリマシタガ、其ノコトニ關聯シマシテ御質問申上ゲタイト思ヒマス、第八條カラ第九條、十一條ニ於テ空地ニ關スル規定ガアリマスガ、ドウ云フ風ニシテ之ヲ實施サレルカト云フコト

ニ付テハ多少疑問ヲ持ッテ居ッタノデアリマス、二月十九日ノ週報ヲ拜見致シマス、
「工場敷地、宅地等トシテ土地投機ノ思惑、農地貸付ノ嫌忌、農業ノ薄利性等ヲ直接間接ノ理由トシテ農地ヲ荒廢サセ、マタ現ニ農地デハナイガ、農地トシテ十分利用シ得ルニモカ、ハラズ、コレヲ空地ノマ、ニ放任シテキルトコロガ相當多イ、ソコデ本令ハカヤウナ休閒地マタハ空地ガアル場合ニハ、強權ヲ發動シテ耕作ヲ強制シ得ル途ガ拓カレタ」ト云フ風ニ書イテアリマス、御承知ノ通り戰時工業、平和工業共ニ工場敷地ト云フヤウナモノハ例ヘバ一萬坪要ル場合ニハ大低ノ場合隣接ノ、將來ノ擴張ヲ慮リマシテ二萬坪買フ、二萬坪買ヘバ宜イモノヲ五萬坪買フ、五萬坪買ヘバ宜イモノヲ十萬坪買フト云フヤウニシテ、毎年々々計畫ハ出來テ居リマススケレドモ、此ノ表ニ出テ居リマス通り、厖大ナ空間地ガ全國ニ荒廢サレテ居ルノデアリマス、是等ニ付キマシテハ例ヘバ米麥ト云フヤウナモノハ前年度カラチャヤント計畫シテヤラナケレバ作レナイノデアリマスガ、工場ニ命令シマス、イヤ是ハ今年ハ斯ウ云フ計畫ガアルカラ作レナイト云フヤウニシテ遁口ヲ吐クノデアリマス、併シナガラ例ヘバ馬鈴薯トカ、薩摩薯トカ豆類ノ如キハ遅レテモ多少ハ收穫ハ出來ルノデアリマス、是等ノ點ヲ法ノ運用如何ニ依ッテハ非常ナル副産物トシテ生レルノデアリマスガ、之ヲドウ云フ風ニシテオヤリニナルカ、只今申上ゲタヤウナ強權ニ依ッテ此ノ空間地ヲ御利用ナサル御積リデアルカ、其ノ點ヲチヨット御伺ヒシテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(岸良一君) 只今ノ空間地利用ノ問題デ、ドウ云フ風ニスルカト云フ御話ハ先程申上ゲマシタ第八條ト關係ノアル問題ト思フノデアリマス、八條デサウ云フヤウナ必要ガアル場合デモ市町村ノ農地委員會ヲシテ一應持ッテ居ル者ニ對シテ勸告サセルト云フコトニナッテ居リマス、是ハ御承知ノ通りサウ云フコトヲ押付ケルト云フコトヨリモ、先ヅ協力スル氣持ヲ起サセルト云フヤウニ勸告ヲシテ然ル後ノ問題ガラウト思フノデアリマス、私共ハサウ云フヤウナ點ニ矢張り萬全ヲ盡シテ、サウシテ更ニ其ノ次ノ段ニ移ルヤウナ方針デ行キタイト思ッテ居リマス、今具體的ニドウト云フコト迄ノ問題ハ考ヘテ居リマセヌガ、大體サウ云フヤウナ順序ヲ踏ンデ行ク考ヘ方ヲ持ッテ居リマス

○男爵坊城俊賢君 只今二瓶委員カラ御質問ガアリマシタガ、別ニ政府ノ方デハマダ御計畫ガナイヤウナ御話デアリマシタガ、第二豫備金ノ三千萬圓ノ使途ニ付キマシテマダ御計畫ガナイヤウニ承ッテ居リマスガ、アレカラ大分時間モ經過シテ居ルノデ、何カ詳細ナコトガ承レマシタナラバ甚ダ幸ダト思ヒマシテ、第一ニ之ヲ御伺ヒ致シマス、ソレカラ第二番目ト致シマシテハ、本年度ノ農產物ノ増産ニ係ハリマシテ、ソレノ計畫ガ地方別ニ、而モ農產物別ニ既ニ御計畫ガ樹立シテ居ラレルモノデアルカドウカ、サウシテソレガ各道府縣トノ間ニ御打合せガ既ニ済マレテ居リマスカドウカト云フコトヲ第二點トシテ御伺ヒシタイノデアリマス、ソレカラ第三點ニ御伺ヒシタイト思ヒマスノハ、此ノ開發ニ關係ノゴザリマスコトデゴザイマスガ、昨日モ三浦委員カラモ御話ガアリ、只今モ二瓶委員カラモ御話ガアリ

マシタガ、此處ヘ移住スル所ノ農民ノ農業ノ適正規模ト云フコトデアリマスルガ、私ハ此ノ適正規模ト云フコト、適正ノ經營方針ト云フモノヲ農林省ガ如何ニ考ヘテ居ラレルカト云フコトガ、非常ニ重大ナ問題デアリナイカト考ヘルノデアリマス、是ハ單ニ今度ノ開發地ニ關スル問題バカリデナク、日本内地ノ農業ニ關係スル所ノ重大問題デアルト常ニ考ヘテ居リマシタデアリマシテ、此ノ機會ニ其ノ點ニ付テモ愚見ヲ申述ベタイト思フノデアリマスルガ、現在ノ内地ノ農村ヲ見マスルト事實努力ガ不足シテ居リマス、又資材ガ不足シテ居ル、ソレニモ拘ラズ農民ハ時局ヲ認識シテ増産ニ向ッテ突進ンデ居ル、政府モ亦ソレヲ指導シテ各種ノ施設ヲ施サレテ居ルト云フコトハ、誠ニ官民協力ト云フコトヲ作リ上ゲル上カラ致シマシテ御同慶ニ堪ヘナイ次第デアリマスルガ、唯茲ニ一ツ大切ナ問題ヲ農林省トシテ没却サレテ居ルノデヤナイカト考ヘルノデアリマス、成ル程農村人ハ時局ヲ認識シマシテ、政府モ亦非常ニ御努力ニナッテ居リマスルノデアリマスガ、其ノ政府ノ施設ノ中デ色々ノ農業各般ニ互ル所ノ補助施設ト云フモノヲ仔細ニ檢討シテ參リマスルト、ソレハ單ニ努力ガ不足ダラウカラ米ヲ調製スルニ共同デヤレバ補助金ヲヤル、或ハ努力ガ不足ダラウカラ納金ノ爲ニ補助金ヲ出ス、又ハ土地ノ交換、分合ノ爲ニ出ス、或ハ畜產デアルトカ、養蠶デアルトカ、林產デアルトカ、モウ農業各般ニ互ル補助デアリマスルガ、ソレハ單ニサウ云フ風ニ出テ居ルノデアッテ、私ノ見ル所デハ農民ト云フ者ハ唯補助金ガ出ルト云フノデ其處ヘ移住シテ行クト云フ

ダケデアッテ、ソコニ農民ノ經營ト云フモノトシツクリ結び付イタ點ニ於テ何カ足リナイ所ガアルヤウニ考ヘルノデアリマス、非常ニ私ノ言葉ガ拙劣デアリマシテ、言ヒ表ハセノデアリマスガ、折角補助ヲナスッデモソレガ本當ニ生キテ來テ居ナイノデヤナイカト思フノデアリマス、ソレハドウ云フ譯カト申シマス、今一步農林省ガ踏込ンデ、日本ノ内地ノ農村ト云フモノハ斯クアルベキモノデアアル、適正ナ規模ト云フモノハ斯クアルベキモノデアアル、今ノハ餘リ集約過ギルトカ、或ハ經營ノ方針ハ斯クナケバレナラヌトカ、云フ所迄突込ンデ御指示ニナツタナラバ、其ノ補助ト云フモノハ本當ニ生キテ來テ意義ガアルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、ドウモ、各種ノ補助ト云フモノガ根據ノアル土臺カラ出發シテ居ナイヤウニ考ヘラレルノデアッテ、ソコガ非常ニ遺憾ノ點デアルト思フノデアリマシテ、ソレハ誠ニムツカシイ問題デアッテ、現在ノ内地ノ農村デサウ云フコトハ即座ニ決メラレナイト云フコトハ御尤モデアルト思フノデアリマスガ、今度開發サレル所ノ新シイ農村ニ於テハ、ソレハ必ず或所迄踏込ンデ農林省ガヤッテ戴カネバ、此ノ開發ト云フモノハ意味ガ無イト云フコトニナリ、又外ノ内地ノ農村ト云フモノモ段々ニ衰頹ノ一途ヲ辿ルヨリ外方法ガナイノデヤナイカト云フ風ニ私ハ虞レテ居ル次第デアリマス、若シモ今一步進ンデ農林省ガ其ノ經營ノ方針ナリ、或ハ規模ナリヲ斯ウアラネバナラス、日本内地ノ農村ト云フモノハ斯クアラネバナラスト云フコトヲ御示ニナツタナラバ、今ヨリモ尙一層力強ク農民ト云フモノハ振ヒ立ッテ、立上ッテ來ルノデハナイカト云フヤウナ氣ガ致スノ

デアリマス、是ハ總テ屢、叫バレテ居リマスル所ノ勞力ノ不足ト云フモノニ對スル緩和策ニモ多少ナリハセスカト云フヤウナ考ガ致スノデアリマス、現在ノ日本ノ農業ノ狀態デハ是ハ全ク幾ラ人手ガアッテモ……幾ラ人手ガアッテモ申シテハ語弊ガアリマスガ、如何ニ努力シテモ勞力ノ不足ハ免レナイ所デアルト考ヘル次第デアリマス、ソレデドウシテモ今度ノ開發ニ於キマシテハ、適正ノ經營ト適正ノ規模ト云フヤウナコトヲ、モウ少シシツカリ御研究ニナリマシテ、御示ニナツテ欲シイト思フ次第デゴザイマス、今日農林大臣ガ居ラレマセヌデ大變残念デアリマスルガ、農林大臣ハ屢、各方面ニ於キマシテ、又議會ニ於キマシテモ勞力ガ不足デアアル、飼料ガ不足デアアル、併シ無理ヲシテヤッテ吳レナクチャナラス、戰爭ニ勝ツト云フコトハ無理ヲスルコトデアルト云フコトヲ農民ニ對シテ強ヒテ居ラレルノデアリマシテ、私ハ農林大臣ニ、ドウカ無理ヲ強ヒテ一ツ日本農村ノ適正ナル經營方針ヲ樹立サレムコトヲ希望シテ已マイ次第デアリマス、斯ク申ス所以ハ私ハ、石黒サンガ大臣デアアル時ニ是非ヤッテ戴キタイト云フ感ジヲ持ッテ居ルノデアリマス、ソレハ第二點デアリマシテ、第三點ハ水利ノ關係ノ問題ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、衆議院ノ速記ヲ見マスと希望條項トシテ、至急ニ水利施設ヲ完備シテ旱害ニ萬全ノ對策ヲ講ゼラレタシ、ト云フコトヲ希望條項ニ述ベテ居リマスルガ、私ハ外ノ意味ニ依ッテ矢張り水利關係ノコトヲ御伺ヒシタイト思フノデアリマス、農村ノ争ノ中デ一番深刻ナモノハ水ニ關係ノアル争デアルト確信シテ居リマス、今度拓カレテ行ク所ノ農地ト云フモノ

ノハ五十萬町歩ノ内二十萬町歩ハ水田デアアル、又荒地ノ改良施設デ、水田デアッテ而モ水利ノ改良事業ヲアル所ガ百四十町歩モアルト云フコトカラ考ヘマシテ、水利關係ト云フモノハ此ノ度ノ法案ニ非常ニ關係ガアリハセヌカト思フノデアリマス、昨日農林大臣ガ仰シヤイマシタヤウナ琵琶湖ノ沿岸ヲ水田ニスルトカ、京都ノ巨椋ノ池ヲ干拓スルトカ云フヤウナ場合ニハ先ヅ比較的問題ガ起ラスト思ヒマスガ、大體今開ケテ居ル水田ヨリモ高サニ於テ高イ所ガ今後開カレテ行クノデハナイカト云フコトヲ想像シマスト、其處カラ流レテ來テ居ル水ヲ使フト云フコトニナルト、今迄使ッテ居タ水田ト云フモノニ對シテ矢張り非常ナ影響ガアルノデハナカラウカト思ヒマス、ソレカラ水力發電ト云フヤウナトモ今後ドン／＼行ハレテ參ルト思ヒマスカラ、ソレニ對シテ矢張り新シイ今度ノ開發サレル所ノ水田トノ關係モ生レテ來ル、詰リ開發サレル所ノ農村ニ於テハ農村對農村ノ水利ノ問題モ起ルシ、又農村對農村以外ノモノトノ關係モ生レテ來ルト思フノデアリマス、ソレデ之ヲ解決シテ參ルニハ何カサウ云フ争ガ起ツタ時ニ補償ヲシナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、ソレニ對シテ補償ヲスルダケノ御準備ヲ計畫ノ中ニ見込マレテ居ルカドウカト云フコトヲ一ツ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ同じ水利ノ問題デ、マダ水利ト云フモノニ對スル根本法ト云フモノガナイノデアリマスガ、其ノ根本法ヲ將來樹立サレルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス、大體四通リデアリマス

○政府委員(岸良一君) 坊城サンカラノ御尋ニアリマシタ三千萬圓ヲドウ云フ風ニ使ッテ行クカト云フコトニ付テハ先程御尋ガアリマシテ、御趣旨ノ點ヲ了承シテ研究スルト申上ゲテ置キマシタ、大體其ノ當時ニ述ベラレマシタ希望ニ付キマシテハ、一部ハ豫算ノ要求ヲ前ニシテ居リマシタヤウナ關係モアリマス、例ヘテ申シマスレバ、技術員ノ設置デアルトカ云フヤウナコトニ付キマシテハ、アルノデアリマスルカラ、勿論御希望ノ點又併セテ其ノ御申出ニ含ンデ居リマス部落團體ノ活動ヲモット盛ニスルト云フヤウナコトニ付テハ、十分考慮シテ折衝ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ本年度ノ増産ニ付テ特別ニ、地方別ニ計畫ヲシテ居ルカト云フ御話デゴザイマスガ、米穀ヲ初メ麥類或ハ甘藷、馬鈴薯、麻類、是等ニ付キマシテハ地方別ニ計畫ヲ立デテ、サウシテ農林計畫委員會ニ御諮リヲシテ、サウシテ其ノ御承認ヲ得テソレカラ府縣ニ通牒ヲシテ居ルノデアリマス、是ハ昭和十四年以來ヤッテ居リマスルノデ、地方デモ大體其ノ心得ヲ以テヤッテ居リマス、又事前ニ是等ニ付キマシテハ十分打合シテ、共々ニ事ガ出來ルヤウニシテ行カウト云フ考デヤッテ居リマス、ソレカラ其ノ次ノ適正規模及適正ノ經營ニ付テ注意シロト云フ御話デゴザイマシテ、ソレ等ニ付キマシテハ十分考ヘテ行カナケレバナラヌト思ッテ居リマス、經營ノヤリ方等ニ付キマシテ農會等ヲシテ經營ノ調査ヲヤラシテ居リ、或ハ農林省自體モ他ノ色々ナ形ニ於テ經營ノ調査ヲヤッテ居リマスルガ、是等モ日本ノ農業トシテドウ云ツタ程度ノモノガ適正デアリ、ドウ云ツタ形態ノモノガ適正ノモノデアアルカト云フコトノ考ヲ得ル爲デアリ、又昨日大臣ノ御話ニモゴザイマシタ通り、地方別ニ之ヲ

重ネテ檢討ヲシテ居ル譯デゴザイマス、サ
ウ云フ風ナ上カラ十分研究ヲ續ケテ行キタ
イ、是等ノ點ニ關シマシテ補助ノ施設ガド
ウモ區々デアッテ、其ノ間ニ脈絡ガナシ、斯
ウ云フ御話デアリマスガ、勿論サウ云フヤ
ウナ意味デ考ヘテ連絡ガ執レルヤウニヤツ
テ行カナレバナラスノデアリマスガ、或
特殊ノ目的ヲ達スルト云フヤウナ考ヘ方カ
ラ、多少其ノ目途トスル方面ニ重點ガ向イ
テ居ルト云フヤウナコトハアル譯デアリマ
ス、是ハ成ルベク綜合的ニヤツテ行ク必要ガ
アル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、殊ニ
新シク設定サレル所ノ自作農ノ經營等ニ付
キマシテハ、勿論サウ云フ點ニ付テハ一層
注意ヲシテ、特ニ經營上カラ見マシテ新シ
村ヲ造テ行クト云ツヤウナ場合ニ於テハ、
色々ノ方面カラ援助ヲシテヤラナケレバム
ツカシイト思ヒマス、勿論自作農創定ヲス
ルモノハ道府縣或ハ市町村等デアリマセウ
ケレドモ、我々ノ方モ出來得ル限り指導ヲ
加ヘテ、サウシテ其ノ設定サレタモノガ立
派ナ新シイ村トシテ出來ルヤウニシテ行キ
タイ、此ノ豫算ノ中ニモ要求致シテ居リマ
ス、此ノ三町歩程ノ經營ハ主トシテ有畜經
營デ行キタイト云フ希望ヲ以チマシテ豫算
ヲ出シテ居ル譯デアリマス、三町歩ニナリマ
ルトドウシテモ大家畜ノ力ニ依ッテ春耕秋
穫等ノ勞力ノ必要ガ激シイ時ニソレル補足
スル、又一面之ニ依ッテ土地ニ出來タ物ヲ肥
料トシテ還元シテ、地力ノ永久保續ヲ圖ッ
テ行クト云フヤウナ考カラ、勞力及肥料ノ
點カラ見テモ有畜農業ノ考ヲ加ヘテ行ク、
斯フ云フ風ナ考ヘ方デ農業經營ヲ指導シテ
行キタイ、勿論此ノ外ニ面積ノ大小ニ依ッテ
機械力ヲ使フ、收穫時分ニ於テ非常ニ勞力

ガ要ルト云フヤウナ場合ニ、共同作業ニ機
械力ヲ使フト云フヤウナ點モ考ヘテ經營ヲ
指導シテ行キタイト思フデアリマス、其
ノ外現在自作農創設ニ對スル施設ニ付キマ
シテハ單ニ移住家屋ニ對シテ三百圓ノ助成
ヲスルト云フノダケデ、是ダケデハ恐ラク
色々ノ困難ガ伴フト思ヒマスカラ、諸般ノ
助成施設等ニ付キマシテモ、矢張り相當考
慮ヲシテヤツテ行キタイ、又農業保險ト云ッ
タヤウナ危險ヲ分散サセルヤウナ施設ニ付
テモ考ヘル必要ガアルノデハナイカ、色々
經營ノ實際ニ於テハ考ヘテ行キタイ、農業
經營全體ノ問題ヲドウ云フヤウニ進メテ行
クカト云フコトニ付テハ、機構改革ト共ニ農
政局ニ經營課ト云フモノガ出來マシタシ、
一ツ改メテ檢討シテ十分御趣旨ニ副フヤウ
ニ相努メタイト、斯フ云フ風ニ考ヘテ居ル
譯デゴザイマス、ソレカラ最後ノ水利ノ問
題ニ付テ色々御注意ヲ戴イタノデアリマス
ガ、私共モ此ノ水ノ問題ニ付テハ餘程慎重
ニ考ヘテ行カナケレバイケナイカト考ヘテ
居リマス、或一ツノ水系ヲ利用シマスル場
合或ハ電力ニ使ヒ、或ハ河川トシテ運轉ニ
使フ、サウシテソレ等ノ水利ヲ農業水利ト
調和シテ使フト云フコトニ付テハ計畫ノ樹
立實行ニ當リ考ヘテ行カナケレバナラスノ
デアリマシテ、是等ニ付テハ今回ノ農地開
發ノ計畫、特ニ營團ノヤル大規模ノ計畫ニ
付キマシテハ道府縣農地委員會及農林計畫
委員會ニ諮問ヲ致シマシテ御審査ヲ願フト
同時ニ內務省及逓信省ニモ十分連絡ノ付ク
ヤウニシテ、サウシテ兩者ノ同じ水系ニ對
スル計畫ガズツカリノナイヤウニ相努メテ
行カウ、詰リ實際上ノ運用トシテサウ云フ
風ニシテ行カウト考ヘテ居ルノデアリマス、

更ニ必要ガアレバ連絡協議會ト云フモノヲ
作ッテ、サウシテ三者ノ水ノ利用、即チ利水
ノ事業ニ付テモ齟齬ノナイヤウニヤツテ行
キタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ル次第デ
ゴザイマス、ソレカラ此ノ水利ニ關スル立
法ノ御話デゴザイマスルガ、之ニ付テモ色
色衆議院デモ御質問ガゴザイマシタノデゴ
ザイマスガ、是等ニ付キマシテハ前カラ色
色帝國議會等ニ於テモ御要求モアリマシタ
シ、農林省ニ於テモ調査ニ努メテ居ルノデ
ゴザイマス、豫算等モアリマシテ、內務省
逓信省ト連絡シテ常ニ調査ヲヤツテ居リマ
スルガ、何分ニモ此ノ水利ノ事業ニハ地方
慣行ガ複雑ニナツテ居リマスシ、調査シテ居
リマシテモ、其ノ間ナカノ困難ナモノモア
リマス、ソレカラ是等ノ法規ヲ作ルト色々
ナ見地カラ研究シナケレバナラス問題ガ澤
山アルヤウデアリマス、御趣旨ノ點ニ付テ
ハ十分承知ヲ致シテ居リマスルノデ、其ノ
間ニ十分調和ノ出來ルヤウナ考ヘ方デ根本
的ニ研究シテ案ヲ立テナケレバナラスカト
考ヘテ居リマス、臨時的ノコトト致シマシ
テハ、水ノ配合ノ調整ヲ致シマスル爲ニ、
御承知ノヤウニ水利調整令ヲ出シテヤツテ
居ル譯デアリマス、之ニ依リマシテ旱害等
ノ時ニ調整ヲ致シタイ、斯様ナ場合ニ有效
適切ニ水ガ配分サレルヤウニ致スヤウニ差
當リハ努メテ居リマス、ソレカラ此ノ農地
開發ノ仕事ヲ行ヒマシテ、從來アル所ノ水
利ヲヤツテ居ル、水ヲ使ッテ居ル者ニ對シテ
損害ヲ與ヘルヤウナ場合ニ於キマシテハ、
是ハ補償ヲスルコトニナツテ居リマシテ、國
營計畫ニ於テモソレヲ含ンデ居リマスルシ、
ソレカラ法律五十五條ニ於キマシテ農地間
發事業ノ施行ニ因ッテ受ケル損害ニ付テハ、

開發營團ガ之ヲ補償スルト云フヤウニ致シ
テアルノデ、其ノ點ハ差支ナキヤウニ取計
ラヒタイト思ッテ居リマス
○男爵坊城俊賢君 只今農林大臣ニチヨッ
ト御話ヲ申上ゲタイト思フコトガアリマシ
タノデスガ、時間ノ關係ガゴザイマスノデ、農
政局長カラ後程御聽キニナツテ置イテ戴キタ
イト思ヒマス、其ノ程度デ結構デゴザイマス
○子爵織田信恒君 今ノ此ノ農地經營ノ御
質問ニ關聯シテチヨット極ク短カイモノデ
ゴザイマスガ、伺ヒタイト思ヒマス、此ノ
第一條ニハ、本法ハ食糧自給ノ強化云々ト
斯ウ書イテアル、此ノ食糧ト云フモノガ所
謂五穀以外ノモノヲ含マレテ居ルノカモ知
レマセスケレドモ、兎ニ角目的ガ直接食糧
ノ作物デアアル、斯ウ云フヤウニ若シモ解釋
シタト致シマス、此ノ法案ニ依ッテ開拓サ
レタ農地ノ農作物ハ自ラ制限サレルノデハ
アルマイカ、詰リ食糧以外ノ例ハ蜜柑畑
ニスルトカ、茶畑ニスルト云フコトハ許
サレナイガ、食糧ニ關係シタ農作物ノ栽培
耕作ヲ許スノデアアル、斯ウ云フヤウナニナ
テ參リマス、マア非常ニ是ハ形式的ナ解
釋ノ仕方カモ知レマセヌガ、若シモサウ云
フヤウニ見マスルト先程ノ御質問ノ中ニア
ルヤウニ、此ノ法案ニ依ッテ成立シテ行ク耕
地ト云フモノハ、矢張り農耕作ニ對シテ相
當最初カラ指導シナケレバナライ、農作
物其ノ他ノ問題ニ付テ指導シナケレバナラ
ス特殊ノ農村ガ是カラ生レテ來ルノヂヤアル
マイカ、斯ウ云フヤウナコトガチヨット起
ルノデスガ、是ハドウ云フヤウニ解釋シタ
ラ宜イノデスカ、チヨット伺ヒタイ
○政府委員(周東英雄君) 勿論農地開發法
其ノモノノ本來ノ目的ハ、食糧自給強化ノ

爲ニ農地ヲ造ルト云フコトデアリマス、從ツテ其ノ農地ニ於テ作ラルベキモノ、對象ノ第一ハ食糧農作物ガ主ニナリマスガ、是ハ作物ノ時期等ニ依リマシテ本來ノ食糧農作物ヲ作り、附帶的ニ他ノモノガ作ラレルコトハ、是ハアリ得ルダラウト思ッテ居リマス、全然食糧ヲ作ラナイ、工藝作物ヲ作ルコトノミヲ目的トシテノ農地ノ開發ハ是ハ認メナイノデアリマス

○子爵織田信恒君 從來ノ斯ウ云フヤウナ耕地ト云フモノハ、普通農家ノ生活ト云フヤウナモノガ主體ニナツテ生活ノ安定ヲ圖ツテヤル故ニ農作物ノ金ニナルモノハ自由ニ作ラセル、ソレデ收入ヲサシテヤルト云フ一ツノ指導方針ガ過去ニ於テアツタ譯ダト思フノデアリマス、此ノ法デ見マスト詰リ此ノ頃流行ノ言葉デ言ヘバ、一ツノ國家目的ノモノヲ此處デ以テ作ラセルト云フ所謂時局ノ波ニ乗ツタ一ツノ姿ガチヨット見ユルデスカラ、或ハ矢張り此ノ食糧政策カラ言ヘバ、政府トシテ多少利益ガナクテモ食糧ノ増産ノ爲ニハヤツテ貰フノダト云フ場面モ起ルノデヤアルマイカト云フ氣ガスルノデス、ソレデ自然先程ノ御質問ノ中ニアツタヤウニ、此ノ經營上ニ付テ餘程細カイ御注意ト御指導ガ自ラ生レテ來ルノデヤナイカ、斯ウ云フヤウナ氣ガチヨットシタ譯デアリマスガ、今御説明ヲ承リマシテ大體ノ輪郭ハ分リマシタ(内田重成君發言ノ許可ヲ求ム) ○委員長(伯爵黒木三次君) チヨット申上ゲマスガ、下村君カラ御質問ガアリマスノデ其ノ後ニ一ツ願ヒタイト思ヒマス ○下村宏君 先程政府委員カラ昨日要求シタ資料ヲ頂戴シ、ソレカラ又色々説明ヲ受ケマシタガ、ソレニ付テ私ガ彼此意見ヲ言

フ程ノコトデヤナイノデスガ、一應參考ニシテ置イテ戴キタイノハ、ドウシテモ是カラノ國策ノ總テガ農林省ト言ハズ、陸軍省デモ、厚生省デモ、何處ノ問題デモ人口ガドウ云フヤウニ殖エテ行キ、又ドウ云フ所デ止ツテ行カト云フコトデ此ノ大體ノ目算ヲ立テテ行カケレバナライ、ソレハ各省ヲ通ジテ共通シテ徹底シナケレバナライノデスカラ、企畫院デ此處二十年ナラ二十年ニ人口一億ニスルノダト云フ時ニハ十分ソレヲ推察シタ上デ其ノ年度割ヲ作り、ソレヲ各省ニ送ツテ其ノ間ノ十分ノ連絡ヲ執ツテ行カケレバナライ、無論皆推定デスカラ其ノ通行力カ行カスカハ分リマセス、又其ノ間ニ戰爭ト云フヤウナコトモアリマスカラ、無論色々過去ノ實績カラ推ス外ナイノデスガ、例ヘバ頂戴シタ此ノ材料ハ、是ハ上田貞次郎博士ノ推定數ト云フコトニナツテ居リマスガ、上田君ハ大體昭和四十五年ニ八千八百萬人ニナル、サウシテ九千萬人臺ニナルト日本ノ人口ガ止ルト云フノガ、上田博士ノ「ゼミナール」ガ發表サレタノハ可ナリ古イノデアリマス、其ノ後人口問題研究會専門ノ人々ガ皆調査シテ上田君ノ研究ニハマダ足りヌ所ガアルト云フノデ、其ノ研究ノ結果ハ昭和二十五年ニ八千萬人、ソレカラ昭和三十五年ニ九千萬人、大體昭和四十五年ニ一億ニナルト云フノガ人口問題研究會ノ専門家ノ研究デアツテ、私共モソレガ上田君ノ發表ヨリ勿論宜イト思ヒマス、處ガ此ノ時局ニナツテ現地ニ澤山ノ人ガ出掛ケテ、戦死者ナリ病死者ガ出來、又體位ガ下ツテ行ク、殊ニ多數ノ人ガ現地ニ居ル爲ニ内地ノ出產ガ減ツテ來ル、是デハイカスト云フノデ人口對策ト云フコ

トガ相當問題ニナツタ、先程政府委員ノ話サレタヤウニ、一方デ結婚ノ年齢ヲ平均三年位早クスル、ソレカラ一ツノ家庭デ平均五人產ムコトニスル、サウシテ一方デ乳幼児ノ死亡率ハ日本ガ歐米ヨリ倍近ク高イカラ之ヲ減ス、又結核ニ因ツテ死ス青年ハ非常ニ多イカラ之ヲウント減シテ行クト云フコトニ依ツテ、今度ハ二十年デ一億ト云フ計畫ガ立ツタノデアリマス、是ガ果シテ豫定通行力カドウカト云フノハ、矢張り此ノ開發案ガ豫定通行力カドウカト云フノト同ジヤウニ、案ハ立テルケレドモ、ナカ／＼四圍ノ狀況ガ之ニ伴ウテ來マスカラ、此ノ案モ豫定通りノ二十年ノ後ニ一億ニ達シ得ルヤ否ヤト云フコトハ私ハ懸念ヲ持ツテ居リマス、併シ先ツサウ云フ一ツ計畫ヲ立テテ行クトシテ、矢張り十年トカ、二十年トカ、三十年トカ云フ或計畫ヲ立テル時ニハ、ソレニ伴フ人口ガドウ動イテ行カト云フコトヲドウカ十分考慮ニ入レテ戴キタイト云フコトト、ソレカラ米ナリ其ノ他ノ商品ト云フモノハ其ノ時ノ人口ダケヲ推シテ行ケバソレデ宜イノデアリマスガ、或時代ニナツテ其ノ時ノ勞働力ト云フ問題ニナルト、今度ハ其ノ年々ノ生レテ來タ數字デ推スノデヤナクテ、其ノ生レタ子供達ガ丁度生産年齢ニ達シタ時ヲ見ナケレバナラスノデスカラ、ドウカ斯ウ云フコトヲ調査サレル時ニ、丁度支那事變ガ起シテカラ以後二十年程經ツト日本ノ勞力ハ不足スルト云フコトニナル、ソレ等ヲ矢張り考慮シテ置イテ斯ウナルト云フコトヲ其ノ職ヲ繼グ人達ト云フカ、其ノ仕事ニ携ハル人、或ハ矢張りソレ等ノ點ヲ考慮ニ入レテ案ヲ立テテ戴キタイト思フノデアリマス、處デ此ノ計畫ニ、昨日モ農

林大臣カラ御話ガアリマシテ、私モ全然同感デアリマスガ、如何ニ外地ト内地ト連絡ヲ通ジテモ、ドウシテモ一番大キナ問題ハ矢張り豊凶ト云フ問題ガ非常ニ大キナ問題ニナルノデ、是ハ人力ノ及ブ所デハナイト思フノデアリマスガ、昨日永田委員モ言ハレマシタガ、丁度アノ米騒動ノ時ハ大臣モ農商務省ニ居ラレ、永田君モ警保局長デアリ、私ハアノ時臺灣ノ民政長官ヲシテ居ッタ、内地ガ米ガ足ラヌカラト云フノデ非常ナ督促ヲ受ケ、ソレカラ後ウント増產ヲセヨト云フ非常ナ命令ヲ受ケ、私辭表ヲ懷ニシテ出テ來タ、内地ハ米騒動ガ濟メバ後ハケロリト元ノ通りニナリマスガ、外地デ一度アア云フ騒動ガ出來ルト、其ノ溝ハナカ／＼埋リニクイ、從ツテ隨分私共當時苦心ヲシ、ソレカラ後ノ増產計畫ト云フコトニハ可ナリ骨ヲ折ツタ、朝鮮デハ下岡忠治君ガ其ノ一人デアツタ、非常ニ骨ヲ折ツテ居ル時ニ非常ナ豐作ト云フコトニナツタノデ、一體何ヤルノダ、餘計ナコトヲヤツテ不都合ダト云ツテ非常ニ叱ラレタ、千田眞曉氏ガ廣島縣ノ知事トシテ字品港ヲ拵ヘテ叱ラレタガ、後年ソレガ役ニ立ツテ後カラ男爵ニナラレタ例ガアリマスガ、ドウモ斯ウ云フ案ヲ立テテ居ルガ、是カラ五年カ十年シテ又今度ハ米ガ餘ツテ來タ、ドウスルノダト云フコトガ私ハ起ルノデヤナイカト思フ、今日デモ私ハ支那事變ガ止メニナツテ、軍隊ノ大部分ガ引揚ガルノダト云フ聲ダケデモ可ナリ物資ハ寬イデ來ルノデヤナイカ、此ノ全國ノ數多イ各家、又銘々ノ氣持ガ段々物ガ足りナクナルノデヤナイカ、少シデモ買溜ヲシテ置カウ、或ハ實惜ミヲスル、此ノ氣持ハモウ總テノ階級ニ通ジテ居ルノデ、其

ノ氣持ガ少シジ、デモ總テノ物資ニ動クト
ソレダケ融通ガ止ッテ來ルノデアリマス
カ、現在デモ或品物ト其ノ融通性トノ茲ニ
或比率ヲ立テタラバ、事變前ト今日トハ
非常ナ違ヒガアリマス、モウ段々物ガ餘
ノダ、要ラナクナルノダ、戰ガ濟ンダト云
フヤウナ聲ガ聞エテ來ルト、可ナリ此ノ反
動ガ來ルト思ヒマス、是ハ唯速記ニ載セテ
置イテ下村ガ言ウタノガ當ルト云フノカ、
當ラスト云フノカ、私ハ今馬鹿ニ焦ッテ居
ト思フ、ソナモノデナイ、「ゴルフ」場ハ潰
サナケレバナラス、競馬場モドウスル、基
モ將棋モイカヌ、木材ガ足ラヌカラ、碁盤
將棋盤ハ薪ニセイ、勢ノ趨ク所ハ其處迄行
クノカ知レマセヌガ、サウデヤナイ、今一
般ノ民心ガ實情ムノカ、或ハ買煽ルノカト
云フ此ノ氣持ノ動キダケデモ、現象デモ非
常ニ茲ニ差ガアルノデヤナイカト思フ、是
ハ數字デハナカ、表セナイノデアリマス、
併シ何ト云フデモ此ノ事變ハ、マダ何處迄續
クカ知レズ、更ニ日米戰爭迄起ルト云フヤ
ウナ空氣ガアリマスカラ、現狀ニ於テ逼迫
シテ居ルコトハ是ハ事實デアリマス、唯此
ノ案ハ先ヲ見テノ案デアリマスカラ、今申
シタヤウナ點ヲ一面ニ考慮ニ入レテ戴キタ
イコトト、更ニ内地ノ豐凶ト、モウ一ツハ
外地及滿洲或ハ民國ノ物資、此ノ穀物ノ豐
凶ト云フコトガ非常ニ大キナ影響ヲ持ッテ
來ル、ソレデ先程政府委員ノ方カラモ、將
來臺灣ナリ、朝鮮ノ移入米モ大體先ツ同ジ
モノト見當ヲ付ケルト云フヤウニ聽キマシ
タダガ、ソレハ何レデモ宜イノデアリマス、
私ノ卑見ヲ申シテ御意見ガアレバ承リタイ
ノデアリマスガ、私ハ是カラ段々朝鮮ヤ臺
灣カラ内地ヘ入ッテ來ル移入米ガ少クナリ

ハセヌカト云フコトヲ憂ヘテ居リマス、ソ
レハ一方デ臺灣ナリ或ハ朝鮮ノ人口ノ増加
ノ爲デアリマス、外國デハ植民地ヲ手ニ入
レテモ、矢張り異民族トシテ之ヲ壓迫シ、
非常ナ差別待遇ヲシテ行キマスノデ、各國
ノ植民地ノ狀態ヲ見ルト、其ノ土地ノ人モ
物モ細ルノデアリマスガ、今日デハ非常ニ
深切ニ構ッテ行キマスカラ、交通ナリ、教育
ナリ、衛生ナリ、總テガ非常ニ伸ビル、其ノ
結果他ノ植民地ニ例ノナイヤウニ、日本デ
ハ植民地ト言ヒマセヌガ、外地、等シク日
本ノ領土デアリマスガ、臺灣、朝鮮ノ人口
ハ非常ナ勢デ増加シテ來タ、明治二十三年
詰リ千九百年ニ臺灣ガ領臺サレタ時ノ人口
ハ二百八十四萬人デアリマス、ソレガ昭和十
三年ニ、僅カ四十年足ラズニ五百七十一萬
人ト云フノ倍以上ニ殖エテ居ル、ソレカ
ラ朝鮮ノ人口ハ明治四十三年、千九百十年
デアリマス、其ノ時ノ人口ハ千三百三十一
萬、ソレガ昭和十三年ニ、此處三十年足ラ
ズニ二千二百六十三萬ト殖エテ來テ居ル、
非常ナ殖エ方デアル、斯ウ云フヤウニ殖エ
テ來テ居ル、朝鮮ノ人口ノ増加率ト、ソレ
カラ新タニ朝鮮ノ土地ガドウ開發サレテ行
クカト云フコトヲ睨ンデ行カケレバナラ
ヌ所ニ、是ハ唯私ノ見越デアリマスガ、今
度ハ其ノ朝鮮人ガ文化ガ段々進ムト共ニ米
ノ方ヘ皆移ッテ來ル、丁度日本デ我々ガ子供
ノ時分ニハ今日ノヤウニ皆米ヲ食ハナカッタ
ノデアリマスガ、段々米ニ移ッテ來テ居リマ
スガ、今朝鮮ヤ臺灣デハ其ノ土地ノ文化ガ
進ミ、産業ガ開發サレルト共ニ段々皆米ヲ
食フコトノ覺エテ來テ居ル、ダカラ外地デ、
其ノ外地ノ人口ノ内地ニ比シテ夥シイ殖エ
ルガ、併シ其ノ土地デノ消費モ亦相當増シ

米ニ移ッテ來ル、此ノ兩方カラ見ルト將來ノ
臺灣、朝鮮カラ入ッテ來ル米ハ私サウ樂觀出
來スト思ヒマスガ、之モ御意見ガアレバ一
ツ承ッテ置キタイ、サウスルト私ハ矢張り滿
洲、マア民國ノ問題モアリマスガ、滿洲ノ
問題ガ非常ニ考ヘラレル、之モ今日ハモウ
三千萬ヲ超エテ居リマスガ、將來ノ滿洲ノ
人口ハ、私ハ今ノヤウナ筆法デ、「イギリ
ス」ノヤウニ阿片ヲ飲マスノデヤナイ、今度
ハ止メサスノダ、ソレカライヤ「チフス」豫
防注射、イヤ何ダト云フノデヤカマシク今
ハ滿洲ノ衛生ナリ、有ラヌル文化ニ力ヲ入
レテ行ク、ソコヘ交通ガ發達シ、殖産ガ開
發サレ、滿洲國ノ人ノ還境ガ良クナッテ來
ト、是カラノ滿洲ヘ又人口ノ殖エ方ガ非常
ニ多イト思フ、此處ヘ今位ノ移民ガ行ッテ居
ルヤウナ位ノコトデ、此ノ移民ガ私共是ハ
大臣ト御同様に滿洲移民ノ問題ニ關係シテ
居リマスガ、大體ノ見越ハ二十年ナラ二十
年ノ間ニ百萬戸位移ッテ、一戸五人トスルト
是ガ四千五百萬人ニナル、其ノ時ノ滿洲ノ
人口ハ五千萬ニナルカラ約丁度一割ニナル
ト云フヤウナ大體建前ニナッテ居リマスガ、
又此ノ土地ノ人口ノ殖エ方ガ非常ニ早イ、
又ソレガ段々米ノ味ヲ覺エテ來ルト云フコ
トニナリマスガ、是以テ自分達ガ考ヘテ
居ルヤウニハ樂觀ハ出來ナイ、併シ何分ニ
モアレ程廣イ土地デ、今日デモマダ七百萬
町歩デスカ、可ナリ大キナ不毛ノ開墾サレ
ナイ土地ガマダ擴ガツテ居ッテ、内地カラ行
ケバ十町歩ノ地主ニナレル、又肥料モ要ラ
ヌト云フ、所謂處女地ガ澤山アリマスカラ、
是ハマア兎モ角モ二十年ナリ三十年ナリ力
ヲ入レテ行ケバ是ハ相當此處カラ米ガ出來
ルガ、併シ其ノ土地デノ消費モ亦相當増シ

テ行クカラ、此ノ邊ガ一體ドウ云フ振リ當
テニナッテ行クモノカ、ソレガ矢張り大キナ
負擔ニナッテ來ル、私ハ是ハ昨日モ申シタヤ
ウニ、ドウモ米ハ小麥ト違ッテ國際品デナシ
ニ銘柄ノ差別ガ多イ、我々ハ南京米トカ外
米トカ言ッテ食フノ嫌ガレバ、ソレデヤ
又支那人ガア、云フ方面ノ人ガ日本米ガ非
常ニ農作デ餘ッタル之ヲ愛用スルカト言ヘ
バ、必ズシモサウハ行カナイ、マア保管ノ
方法ハ何カ安藤博士アタリガ近頃發明ガ出
來タト云フノデ、相當保管ガ出來ルノカモ
知レマセヌガ、融通性ガ乏シイ、サウシ
テ日本ノヤウニ颶風トカ、大水ガ出ルト
カ、或ハ旱害トカ、ソレカラ東北カラ北海
道ノ方ニ行クト冷害ト云フモノガ付イテ來
マスカラ、是ハ滿洲ヨリモ緯度ハ北デア
ルガ、氣溫ノ變リ方ハ私ハ一層北海道ノ方
ガ曇リモ多イシ、風雪モ多イシヒドイト思
フ、ダカラドウモ先ヲ考ヘルト其ノ副食ト
言ヒマスカ、代用食ト言ヒマスカ、混食ト言
ヒマスカ、兎ニ角我々ガ米以外ノモノヲ不
斷カラ皆食ヒ慣ラシテ行クト云フコトニシテ、
成ルベク「ブラクチスト」スル、此ノ動キヲ
少シデモ少クシテ行クト云フコトガ價格ヲ
維持スル上カラ言ッテモ、又銘々ノ生活ノ上
カラ言ッテモ非常ニ必要デハナイカト思フ、
ソレデ問題ハ詰リ米ト云フ問題ダケデナク
テ、外ノ食糧ノ問題モ考ヘナケレバナラス、
ソレカラ是ハ話ガ少シ行キ過ギルヤウデア
リマスガ、此ノ機會ニ申シテ置キマスガ、
戰サノ時ト言ハズ、平和ナ時デモ米ハ一々炊
カナケレバナラス、又非常ニ寒ケレバ凍ル
シ、又熱帶地ニ行ケバ直ダ熱イト饑エル、
ダカラ保存ト云フ意味カラ言ッテモ、ソレカ
ラ直ダ口ニ入レルヤウニ敏捷ニ手順ヲスル

ト云フコトニ付テモ、戰サノ時ナドハ米ハ非常ナ不便ナモノニナツテ來ル、旁、私ノ記憶デハ友部ノ高等國民學校デモ、鳥取ノ關金ノ國民學校デモ、働ク青年ヲ引張ツテ來テ「パン」ヲ食ハシテ仕事ヲサセルカラ、腹ニコタヘガナクテ、コンナモノデハ迎モ仕事ガ出來スト云フヤウニナツテコボスケレドモ、ソレガ二月三月ト經テ行クト米デナクテモ力業ガ出來ルト云フコトヲ私共其ノ場所デモ聽イテ居ルノデアリマスガ、今度ノヤウナ事變ニナルト丁度サウ云フヤウナ試煉ヲスベキ機會ニ惠マレテ來タノデヤナイカ知ラストカ、私ハ方々道場ナンカガ出來マスカラ、サウ云フ道場ナドデサウ云フ一ツ試驗ヲシ、サウシテソレ各地デソレヤラシテ見テ、一體日本人ト云フノハドウシテモ米ガナケレバイカヌノカ、ソレデサウデナイ、雜穀デモ宜イ、混食デモ行クノダ、之ヲ一ツ斯ウ云フ機會ニ各地デ體驗セシメルト云フコトガ必要デハナカラウカ、餘リ長クナリマスカラ其ノ問題ハ此處デ止メマスガ、順々ニ願ヘマスカ、一時ニ申シマセウカ

○國務大臣(石黑忠篤君) 切ツテ戴イテモ結構デゴザイマス、此ノ邊デ……

○下村宏君 サウ長イト言ツテモ嚇カス程長クハアリマセヌ、ドウカ其ノコトダケ……大體御贊成ダラウト思ヒマスガ……
○國務大臣(石黑忠篤君) イヤモウ全く御同感デゴザイマス、人口ノ點ニ付キマシテ此處ニ上田博士ノ論叢ヲ取リマシタノデアリマスガ、御指摘ノヤウニ人口問題研究會等ニ於テ十分ナ討議ガアツテ、多少ノ訂正ヲ加ヘナケレバナラスコトニナツタト云フコトモ私ハ承ツテ居ッタノデアリマス、ソレ

カラ厚生省ノ方ト企畫院等デ研究ヲ致シマシタ人口政策ノ要綱ヲ過般閣議デ以テ認メマシタコトモアルノデアリマスガ、是ナドハ實ハ一月ニナリマシテカラノコトナノデアリマス、ソレデ御承知ノ通りニ法案ヲ立テタリ、豫算ヲ作リマスノハナカク手間ガ掛リマスノデ、此ノ案ノ如キモ甚ダ杜撰デゴザイマスルガ、九月頃カラ著手致シテ居リマシタヤウナコトデ、御承知ノ通りニ豫算ナドハ或程度ノ根據ヲ出シマスルト云フト、ソレヲ中途デ變ヘタリナンカスル譯ニハ行カヌヤウナ關係モアルノデアリマス、サウ云フヤウナコトデ連絡ガ調査上ノ根本ニナル非常ニ大事ナ點デアルニ拘ラズ、連絡ガ十分ニ付イテ居リマセヌヤウナ憾モアリマスノデアリマシテ、其ノ點ハ十分ニ私共モ連絡ヲ執ツテヤラナケレバナラスコトハ承知致シテ居リナガラサウ云フヤウナ次第デ、閣議ノ決定ナドニ付テモ十分ソレヲ檢討ノ中ニ入レ得ナカッタヤウナ事情ヲ辯解ヲ致シテ置キマシテ御諒察ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレニ致シマシテモ今後ノ計畫トシマシテハ、基礎ハ兎モ角モ今後二十年トナルト云フト、丁度今御指摘ノヤウニ生産年齢人口ト云フモノガ喰ヒ込ンデ激減スル時代ニ際會フスルノデアリマス、非常ニ此ノ點ハ我々トシテモ考慮シナクテハナラナイコトデアリマシテ、只今ノ子供ガ一人ト雖モ大切ニナルト云フコトガ二十年後ニ於テ實現サレコトトナルト存ジマスノデ、御指摘ノ點ハ當局ト致シマシテモ十分ニ注意ヲ致サナケレバナラスト考ヘテ居リマス、ソレカラ外地ノ生産ガ色々内地ノ必要上ノ註文デ色々ニナツタト云フ御苦心ノ御話ハ全く其ノ通りダト思フノデアリマ

ス、之ニ關シマシテハ昨日モ永田サンニ申上ゲタノデアリマスガ、實ハ能ク連絡ガ執リタイノデアリマス、處ガ食糧問題ト云フモノニ付キマシテハ、ソレノ官廳ガ矢張り非常ニ、是ハ治安上ノ關係モゴザイマスノデ、緊密ニ關係ヲ以テ何處カデ之ヲ統轄シテ決定スルコト云フ譯ニモ從來行カナカッタ所爲モアルノデアリマス、ソレデ色々ナ計畫ガ出デ参リ、又内地カラ無理ナ註文モ來ルト云フヤウナコトモアツタヤウニ存ジマスルガ、諸君ノ計畫ノ實行ニ當リマシテ、連絡ノウマク執レタ時モアリ、非常ニ違ヒガアルノデアリマス、下村委員ガ臺灣デ色々御心配戴キマシテ、嘉南大圳ト云フヤウナ、ア、云フ大計畫ヲ進メテ戴イタ時ノ如キ、或ハ其ノ後ニ臺灣ニ於テ伊澤總督ノ下ニ蓬萊米ノ栽培ト云フモノニ非常ニ力ヲ入レラレタ時ノ如キ、是等ノ時ハ非常ニ連絡ガ密ニ参リマシテ、大變工合ガ良ク行ツタヤウニ思フノデアリマス、併シ之ニ反シマシテ非常ニ工合ノ惡イコトモアツタノデアリマシテ、モウ少シ連絡ガ良クアリサヘスレバ同ジコトデモ非常ニ結果ガ滑カニ行ツタノデヤナイカト思ヒマス、是ハモウ議論トカ或ハ仕事ノ繩張りトカ云フ問題デナク、實際實物ガ出テ來テ、内外地ノ關係ガドウナルカト云フ問題ナノデアリマスカラ、十分ニ兩方共連絡ヲ執ツテ、サウシテ覺悟ヲシテ色々調整ノ手段ヲ講ジテ行カナケレバナラスト私ハ考ヘルノデアリマス、其ノ意味ヲ昨日申上ゲタヤウナ譯デアリマス、ソレデ政府ト致シマシテモ當議會デモ終リマスレバ早速食糧問題ヲ初メト致シマシテ、其ノ他ノ物資ノ需給ノ問題ニ關シマシテ日滿支ヲ通ジマシタ色々ナ

打合會ヲ催サナケバナラスト考ヘテ居リマス、是ハ企畫院ヲ中心ト致シマシテ形式ニ拘ラズ、實質上ノ打合セヲソレノ方面デ十分ニ致ス機構ヲ事實上備ヘテ參ル話合ニ最近致シテ居リマスルカラ、是デ進ミタイト考ヘテ居リマス、而シテ外地ノ米ノ消費量ガ將來ハ増スダラウト思フガドウカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ私ハ其ノ通りダト思ヒマス、御話ノヤウニ日本ノ外地統治ト云フモノハ外國ノ植民地統治トハ違ヒマシテ善政ガ徹底スルノデアリマスカラ、人口ガ非常ニ率デ以テ増加ヲ致シテ參ルト云フバカリデナク、御話ノヤウニ私ハ民度ガ高マルコトノ爲ノ消費ト云フモノガ非常ニ増シテ來ル、是ハ非常ニ人口増加以上ノ率デ以テ消費ガ増スコトトナラウト思フノデアリマス、最近ノ實情ヲチョット見マシテモ、朝鮮ニ於キマシテ確カ昭和十二年度ニハ千二百六十萬石程度ノ消費デアリマシタト思ヒマスガ、十三年ニハ千五百八十萬石程度トナリ、更ニ十四年度ニハ千七百六十萬石程度ニ進ンデ來テ居ルト云フ風ナコトハ、是ハ單ニ人口増加率ト竝行シテ居ルトハ考ヘラレナイノデアリマス、是ハ民度ガ確カニ高マツテ來テ居ル爲ダト思フノデアリマスガ、民度ガ高マルト云フ意外ニ却テ凶作ノ時ニ米ヲ食フト言ツタヤウナ特別ノ事情ガアル、是ハ内地ニ於キマシテモ、東北ノ凶作ノ時、或ハ今度ノヤウナ食糧問題ニ困リマス時ニハ、存外今迄消費シテ居ナイ處ニ米ヲ消費サセルト云フヤウナ慣習ヲ作ル本ニナルヤウナ場合モアリマスガ、大體ニ於キマシテソレ等ガ本ニナルコトモアリマスケレドモ、モット大キナ原因ハ民度ガ高マツテ來ルト云フコトデアラウト考ヘマス、

臺灣ニ於キマシテモ十三年度ノ四百八十萬石ガ十四年度ニハ五百萬石トナッテ居ルトヤ云フナ狀況デ來テ居ルノデアリマス、此ノ趨勢ト云フモノハ將來益々強クナッテ參リマスと思ヒマス、從ッテ生産ガ非常ニ増加ヲ致シマシテモ區域内ノ消費ガ非常ナ率デ進ミマス、結局内地ガソレニ依頼スルコトガ段々出來ナイヤウナ狀態ニナッテ來ルコトト考ヘラレルノデアリマスカラ、其ノ意味ニ於キマシテ先程政府委員カラ説明申上ゲマシタ計畫ノ十六年度以降十箇年間ノ米穀需給推算ノ中ニモ、移入額ハ今迄ノ普通年度程度ト見テ居リマスガ、朝鮮及臺灣ニ於キマスル増産計畫ト云フモノハ決シテ停止シテ居ルモノデハアリマセヌノデアリマスガ、其ノ都合ハ全然見込シテ居ラナイト云フ程度ニ此ノ案ト致シマシテハ取扱ヲ致シテ居ルノデアリマス、或ハ是ダケモ取レヌコトニナルカモ知レマセヌガ、一方増産計畫ヲシテ居ル増産分ダケヲ見ナイト云フマア程度ニシテ置クノガ頃合ダラウト云フノデ、其ノ程度デヤッテ行クヤウナ次第デアリマス、之ニ多クノ期待ヲ持チ得ナイト云フ風ニ私モ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ然ラバ其ノ以外ニ外地ニ準ジテ何處ガアルカト申シマスレバ、只今御話ノヤウナ北滿、滿洲ノ水田ノモノデゴザイマス、北支モ只今迄ノ民族的關係カラ、北支ノ人々ハ米作ハシナイ慣習デアリマシタガ、土地トシテハ十分ニ作レル所ガアルノデアリマスカラ、是等ハ必ズ將來ハ作ルコトニナラウト思ヒ、又作ラセナケレバイカスト云ヘルノデアリマスガ、併シ一番大キイノハ何ト云ヒマシテモ人ノマダ居リマ

セヌ滿洲國ノ方ト思ヒマス、ソコデ米ノ生産ニ次ギマシテハ、比較的麥ノ方ガヨササウニ思フニ拘ラズ、氣候ノ關係カラ致シマシテ、熟期ノ關係カラ致シマシテ安定ガ米ノ方ニアルヤウニ思ヒマス、相當北ノ北緯四十六度見當アタリデモ可ナリ能ク出來マス、昨年三江省ノ寶清アタリニ五十町歩バカリ拓キマシタノガ、僅カニ時期ヲ遅レテ參リマシテ、六月カラ九月迄ノ間ニ田ヲ拓キ、米ヲ播キマシテ、植付デアリマセヌ、播キマシテヤリマシタノデ、五十町歩ノ田ヲ内地ノ農民ガ行ッテ拵ヘテ歸ッテ來タヤウナ實例モアリマス、是ハ唯一年ダケノナンデヤゴザイマセヌ、アノ近邊ノ密山地帯ノ開拓民ノ開墾シタ成績カラ見マスルト、御承知ノ通り誠ニ安定デアリマスカラ、サウ云フヤウナ所ガズットマダ澤山アリマスヤウニ考ヘラレルノデアリマス、是ト麥其ノ他ノ穀物ノ生産ヲ滿洲ニ見マスルコトハ、是ハドノ道非常ナ大キナ期待ガ外地ニ較ベテ出來ルモノト考ヘテ居リマス、日滿支ノ經濟分擔ノコトヲ現内閣デ以テ凡ソノ見當ヲ付ケテ居リマスニ對シマシテモ、滿洲ハ大體穀物ノ、糧穀ノ生産地トシテ十分ナ重サヲ此ノ方面ニ於テヤルベキデアルト云フコトニ決メテ居リマスヤウナ次第デ、將來モ是非ノヲヤッテ參リタイ、ソレヲヤルノニハ内地人農民ノ人口ノ發展ト致シマシテ、アチラニ送リタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、見方ニ依リマシテハ南方ノ佛印デアルトカ、「タイ」デアルトカ、或ハ蘭印ノ如キハ米作ノ上カラ申シマス、年ニ三作ヤレバヤレルノデアリマシテ、非常ニ好都合ニ物ハ出來ルヤウニ思ヒマス、思ヒマスガ、連モ滿洲ノ如キ内地トノ關係ニ於テ特別ナ點ニ於テ

比較ニナリマセヌ、ソレカラ是ハ下村委員ガ臺灣御在任中ノ時ニ非常ニ御援助ヲ戴イタノデアリマスガ、私共海軍ノ松岡大佐ナドト一緒ニヤリマシタ日蘭通交調查會ノ當時ニ蘭領印度ノ外領地ニ米作農民ヲ送リマシタ經驗モアノ時ゴザイマシタノデス、今日殘ッテ居ルノハ「ハルマヘラ」ノ江川一人ガ殘ッテ居ルト云フヤウナ狀態デ、日本人ノ農業植民トシマシテハドウモ南ハムツカシイヤウニ思ヒマス、ソレデ人口ノ發展ノ基地トシマシテハ、増殖ヲサセルノハドウシテモ北方ノ無住地帯デ良イ所ニ發展ヲサセテ行クノガ宜イノデナカラウカ、南方ハドウシテモ物ヲ穫ル、「プランテーション」ノヤウナ意味ノ發展ガ主デハナカラウカト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナコトデ此ノ將來ノ人口問題及ビ食料供給ノ問題ヲ考ヘテ參リマスル場合ニ外地、外國ノ關係ハ大體サウ云フ順序デ考ヘテ行カナクチヤナラヌト考ヘマスガ、此ノ米ノ主要食トシマシテノ米ニ餘リニ重キヲ置カナイト云フコトガ、一ツハ食糧問題解決ノ鍵デハナイカト云フ御指摘デアリマスガ、誠ニ左様ニ考ヘルノデアリマス、先日米穀ノ應急措置ノ法律ニ付キマシテ、野村子爵ノ御尋ニ對シマシテ私御答申上ゲタ時ニ申上ゲマシタヤウニ、大體國內ノ農産及水産ノ生産ニ依リマシテ、大數カラ申シマスレバ今日ノ人口ニ對シマス食料ノ供給ハ十分充足シ得テ行クベキ筈ニナッテ居ル、ソレガ非常ナドウモ逼迫ヲ感ジテ居ルト云フコトハ、米ト云フモノヲ餘リ過重ニ考ヘテ居ルト云フコトガ、是ガ一時ノ現象デナクシテ日本人ノ習性ニナッテ居ル點ニアルト思フ、之ヲ引直シテ行トク云フコトハ非常ニムツカシイノデスガ、

又シナケレバナラヌコトト考ヘテ居リマス、其ノ意味ニ於キマシテ他ノ穀物或ハ他ノ食糧ノ農産、水産ノ適當ナ配合ヲ、食制ヲ矢張り變ヘテ行クト云フコトハ是非努メナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、ソレト同時ニ御指摘ノ同ジ穀物ヲ食フノニ粒食デ行クカ、粉食デ行クカト云フ問題、粒デ食フカ粉デ食フカ、是ハ非常ニ研究問題ダト考ヘルノデアリマス、唯ソコハドウモ粉食ノ方ガ宜イヤウニ思ヒマスガ、一ツニハ米ト云フコトバカリデナシニ、粒食ト云フ食制ニ日本民族ガ非常ニ執着ヲ持ッテ居ルノデアリカト私ハマア私見デアリマスガ考ヘルノデアリマス、粉ニシテ食フ方ガ宜シイモノヲ非常ニ苦心ヲシテ粒デ食フ例ガ稗ナドニア、稗ナドハ粉ニシテ食ベキモノデア、ソレヲバラ／＼ニナルモノデアリマスモノデスカラ、仕上グル前ニ一遍蒸シテ、サウシテ搗精ヲスルト云ツタヤウナ手數ヲ掛ケテモ、切メテ米ノ粒ハ食ヘナクテモ稗ヲ粒デ食ハウト云ツタヤウナ知ラナイ嗜好ガ其處ニ非常ニ強ク働イテ居ルヤウニ思フ、是ハ粉食ノ食物ヲ日本人ニモット好適ニスルヤウナ食事ヲ、御話ノヤウニ私共世話シテ居ル學校や道場デハ是非ヤラセタイト思ッテ「パン」釜ヲ拵ヘタリナンカシテヤラシテ居ル、ドウモ粒食ノ方ガ腹ニドシント來テコタヘガアル、ソレデアリマスルカラドウシテモサウ云フ風ニ行クノデアリマスガ、日本人ノ食物ハドツチカト申シマス必要以上ノ嵩ヲ入レナケレバ承知ノ出來ナイ腹ニ拵ヘラレテ居ル爲、モット少量デ以テ榮養ハ差支ナイ、熱量モ差支ナイニモ拘ラズ何ダカ腹持チガシナイト云フヤウナ感ジヲ持ツト云フノガ、殊ニ農民ノ食物ノ分量ガ

非常ニ多イト云フ、是ハ特徵ノヤウニ思ヒマスガ、是ハ是非變ヘテ行カケレバナラヌト思ッテ居リマス、其ノ意味ニ於キマシテ、粉食ノ問題ハ同ジ穀物ノ問題ニ於テモ考ヘテ行カケレバナラヌ、併シ米ノ粉食ト云フ問題ハ、是ハドウモ大シタモノデヤナイト思ヒマスカラ、結局米ガ他ノ穀物ニドレダケ轉化シテ行カト云フ問題ト、粒食ニスルカ、粉食ニスルカト云フ問題ハ實ハ裏腹ノ問題ダト考ヘテ居ルノデアリマス、所謂表裏ノ關係ニアルモノダト考ヘテ居ルノデアリマス、是等ノコトハ唯分析ダノ、オ醫者サンノ方ノ研究ダケデヤイカナイ、モット實用的ニ食ヘテ見テ、働カセテ見テヤッテ行カト云フコトニシナケレバナリマセヌカラ、ソコデ學校ダノ道場ダノデ以テヤリマスコトハ、軍隊デヤッテ貰ヒマスコトト共ニ是非ヤッテ行カケレバナラヌ、是ハ將來ノ食糧問題解決ノ上ノ一ツノ實驗ダト考ヘテ居リマスガ、將來ハ御指摘ニ依リマシテ、農林省關係ノ農民道場ト云フヤウナ風ノ所デ研究ヲ致シテ參リタイト思ッテ居リス

○下村宏君 モウ時ガ大分來マシタカラ少シ詰メテ申シマスガ、丁度僕ノ本ヲ持ッテ來タ中ニ、熱帯地ノ日本人ノ移民ノコトガアリマシタガ、實ハ滿洲ノ外ニ近クハ海南島、更ニ佛印ナリ「タイ」ナリ、「マレー」半島ナリ「ビルマ」、是等ハ御承知ノヤウニ絶エズ米ヲ輸出スル地帯デスガ、唯サウ云フ所ヘ日本人ガ行ッテ、果シテ矢張り日本民族トシテノ素質ヲ失ハズニ其處デ伸ビテ行カドウカト云フコトハ、私ハ大臣ノ御考ノヤウニ疑問ヲ持ッテ居ル、處ガ私ハ裏南洋ニマダ行カナイノデスガ、此處ニ北海道帝大ノ總長

ノ高岡博士ガ内南洋ヲ見タ報告ニハ、「ゾンバルト」ハ「ヨーロッパ」人ノ足跡ノ及ブ所ハ沃野ヲ變ジテ瘠土ニスル、日本人ノ足跡ノ及ブ所ハ瘠セタ土地ヲ變ジテ沃野ニスルト云ッテ、其ノ例ニ内南洋ヲ出シテ居ル、此ノ熱帯地ノ群島ハ「ドイッ」ガ占領シテ十五年經ッタガ、大正十二年ニ二百五十九人ト二百人、合セテ四百五十九名、大正九年ニ日本ガ委任統治ヲ引受ケテ、其ノ翌年ニ二百二十人ト云フノガ内地人デ、島民ガ四萬三千人デアッタ、處ガ非常ナ増加ヲシテ、ソレガ昭和十一年ニハ總數ガ十萬ニナツテ居リマスガ、内地人ガ約五萬六千、島民ノ方ガ五萬ト云フ數デアリマシテ、島民ヨリモ内地人ノ方ガ多クナツテ居ルノデアリマス、サウシテ非常ニ産業ガ開發サレタノミナラズ其處ニ出掛ケテ居ル内地人ノ出生率ハ内地ヨリモ高ク、死亡率ハ内地ヨリモ低イト云フヤウナ色々ナ表ヲ添ヘテ出シテ居ルノデアリマスガ、無論「ドイッ」ハ「アフリカ」ヤ各地、到ル處ニ植民地ヲ持ッテ居ッテ、コンナボロノ島ヘ來ル暇ハナイガ、コッチハ珍シイカラワアノ大勢出掛ケタノデスカラ、「ドイッ」ト比較スルコトハ出來マセヌガ、兎ニ角ア、云フ南洋群島ナドデモ日本ノ手ニ掛レバ相當産業ハ開發サレル、併シ其處ニ居ル内地人ガ果シテ將來ドウ云フ運命ヲ迎ッテ行カ、是ハ私分リマセヌガ、丁度此處ニアリマシタカラ參考ニ申上ゲテ置キマス、ソレデ昨日永田委員モ話サレ、又農林大臣モ御話ニナリマシタガ、私共内地ト外地ト連繫ヲ執ル、連絡ヲ執ルト云フコトハ何ト申シマスカ、三十年、四十年一日ノ如ク是ハ申シテ居ルノデアリマスガ、唯過去ノ事實ヲ御話シテ將來ノ御參考

ニシタイノデアリマスガ、丁度仲小路農商務大臣ノ在職ノ時ニ、米騒動ノ後ヲ引受ケテ非常ニ苦心サレタノデアリマスガ、アノ時ニ臨時産業調查會ト云フ非常ニ大キナ委員會ガ出來タ、是ニハ朝鮮トカ臺灣ノ我々ハ當然米ヤ色々ナ資料ヲ持ッテ居ルカラ、又隨分米騒動ニ引掛ッタノダカラ當然委員ニナレルモノト思ッテ居ッタラ之ニナレナイ、ソレデ痛イ經驗ヲ持ッテ居リマスカラ、私ハ何時デモ後任ノ諸君ニ其ノコトヲ言ヒ、又何カ問題ガアルト普通ノサウ云フ委員會ノ時ニ朝鮮、臺灣ヲ忘レテ呉レルナト云フコトヲ絶エズ言ッテ居ルノデスカレドモ、實際ハ能ク忘レラレル、我々ハアノ會ニ臺灣ナリ朝鮮ヲ入レテ呉レナケレバ困ル、自分ハ臺灣ニ居ッテ若シ參加ガ出來ナケレバ、東京ニハ總督府ノ出張所ガアッテ人ガ居ルノダカラ、事務官ナリ何ナリ「オブザーヴァー」デモ宜イカラ出シテ呉レト言ッテ居ルンデスガ、ナカノソレヲ聽イテ呉レナイ、通知スラ來ナイト云フ有様デアッテ、サウ云フコトガアリマスガ、ソレガ私共ガ拓務省ヲ作ッテ呉レト言ッタ所以デモアリマス、朝鮮、臺灣等外地ニ關係ノアル人ガ閣員ニ居ッテ、若シ何カ問題ガ起ッタ時ハ直グ朝鮮、臺灣ハドウカト云フコトヲ聯想シテ貰フト云フコトトニハ、矢張り閣員ニ居ッテ貰フト云フコトガ必要ト思ヒマシタノデ、サウ云フ屋上屋ヲ拵ヘテ監督スルト云フヤウナコトハ、サウ無暗ニ殖エルコトハ私共ハ窮屈デモアリ、面倒デスガ、日本國民ニ海外思想ニ關心ヲ持タセ、絶エズ朝鮮、臺灣ヲ通ジテ、此處ニハ數千萬ノ民衆ガ居ルノデアリマスカラ、又巨大ナ富ガアルカラ之ヲ代表スル者ガ閣員ノ中ニ始終居ッテ連繫ヲ執ッテ欲シト云

フノデ、拓務省ノ設立ヲ主張シテ居ッタノデアリマスガ、併シ是モ存外出來テ見ルト永田君ガ居ッタラ言ヒタイガ、是ハ矢張り餘リ連繫ガ取レテ居ナイ、例ヘバ此ノ間ノ臺灣米管理法ノ時デモ、臺灣米ヲアノ管理法デヤル時ニ内地ハドウスルカ、朝鮮ハドウスルカト云フコトハ當然伴ウテ連繫ヲ執ラナケレバナラヌ問題アル、處ガ臺灣ダケ獨リ歩キシテ居ッテ、衆議院デワアノ言ハレテヤット朝鮮デモ慌デテ何カ案ヲ拵ヘタト云フヤウニ私ハ皮肉ニ解釋スルノデス、マア是ハ米ト云フ問題デスカラ、臺灣カラ米ノ管理ノ問題ガ出テ來タラ朝鮮ハドウスルカト云フコトヲ朝鮮ヘ拓務省カラ傳ヘテ行ク、ソレハ必ズシモ步調ガ是非一ツニナルトハ決リマスマイ、色々事情モアリマセウガ、兎モ角モアノ臺灣ノ米穀管理ノ問題ノ出タ時ニハ、是ハ朝鮮デハドウスルカ、滿洲ヲ考ヘ、内地ヲ考ヘテ、例ヘバ一年待ッテ呉レ、内地モ一緒ニナツテ事實ナラ事實ニスルト云フヤウニ當然是ハ連繫ヲ執ラナケレバナラナカッタノガ執レナカッタコトガ、矢張り此ノ議會デ豫算總會デアリマシタカ、本議場ノ壇上デ其ノ點ヲ懸ヘタノデアリマスガ、ドウモ此ノ朝鮮ト臺灣ハ似タ所ガ多イカ、其ノ間ノ連繫モ執レズ、内地トノ連繫モ執レナイト云フコトハ、拓務省ガ出來テカラ今日モ然リデ、朝鮮志願兵ノ問題ガ起ッテモ、臺灣ニハ一ツモノ打合セナシニヤッテ行ク、朝鮮ニハ性民ト言ッテ日本ヤウナ氏名ヲ付ケルコトヲ認メテ居ルガ、是ハ朝鮮ダケ獨リ歩キヲシテ居ル、モノニ依ッテハ打合セヲヤッテ宜イコトガ澤山アルノデ、是ハ農林大臣ニ懇ヘル譯デハアリマセヌガ、國務大臣トシテ御聽キヲ願ッテ置キタイガ、ドウモ連繫ト云フコ

トガロデハ言フガ、ドウモ不思議ニ今日迄
執レテ居ラナイ、ドウカ今ノヤウナ委員會
ナリ何カ組織スルト云フ時ニハ、私ハドウ
シテモ臺灣ナリ朝鮮、ソレカラ「オブザ
ヴァー」ニナリマスカ、ドウナリマスカ、滿
洲ノ民政部ニナリマスカ、此ノ仕事ヲヤッ
テ行ク所ハ、殆ド大部ハ農林省ナリ商工省ナ
リカラ皆轉任サレタ方が多いノデアリマス
ガ、矢張り此ノ方面カラモ委員ト云フモ
ノガ行カナケレバ、「オブザヴァー」ト言
ヒマスカ、何カサウ云フモノヲ一ツ組織シ
テ始終是カラ連繫ヲ執ッテ戴キタイト云フ
コトト、ソレカラ是ハ昨日カ松村委員カラ
モ御話ニナッタヤウニ思フノデスガ、ドンナ
委員會ノ時デモ全體ノ消費者トカ、全體ノ
代表者ガナクテ何時デモ專門ノ方、利害關
係ノ代表者ナリガ寄ル、私ハ「セメン
ト」ノ委員會トカ、百貨店ノ委員會トカ色
色ノ所ニ出マシタガ、私共ハ消費者代表デ
アッテサウ熱心デヤナシ、サウ「エキス
パート」ト云フコトデモナシ、知識モナシ、
用ガアレバ出レヌガ、「セメント」ヲヤッテ居
ル者ハ業者ダカラ地方カラ出テ來テ、專門
家ダカラ血眼デ議論スル、結局其ノ人達ガ
議論シテ居ルノデ、國民全體トシテ其ノ問
題ヲドウ考慮スルカト云フ方面ヲ代表スル
人ハナイ、又アッテモサウ熱ハナイノデス、之
ニ熱ヲ求メルノハ無理カ知レヌガ、何時デ
モ專門家同士デ寄ッテ決メテ行クト云フ所
ニ私ハ又相當ノ缺陷ガアルノデヤナシカ、
兎ニ角マア自分達ノ今迄ノ長イ經驗デハ今
言フ連絡ガ執レヌ、モウ大臣モ初メカラ御
話ニナッテ居ル通りデアルガ、不幸ニシテ今
日迄事實ハ兎角連繫ノ執レヌ場合が多いノ
デアリマスカラ、ドウカ是ハ一ツ是カラ在

來ニ比シテ一層ノ御留意ヲ願ヒタイノデス、
ソレカラ是ハ私ノ一種ノ何ト云ヒマスカ、
昨日永田君モ其ノコトヲ言ハレタデスガ、
今度ノ此ノ開發ノ爲ニ新タニ相當ノ土地ガ
開カレルノダ、其ノ先ハドウナルカト云フ
ヤウナコトガ又考ヘラレル、デ今ノ是ハ人
口問題ニモ伴ヒマスガ、恐ラクハ段々交通
ガ發達スル爲ニ今迄手ヲ著ケテモ手ヲ著ケ
テモ、詰リ算盤ノ探レヌ所モ探レルヤウニ
ナッテ來ル、ソコヘ水利トカ其ノ他ノ途モ段
段開カレマスカラ、是ガ開發サレ、又更ニ
生産費ガ割高ナ所デモ手ガ著イテ來ルト
云フヤウニナッテ來ルト思フ、思フケレドモ
私トシテハ日本ノ此ノ面積、殊ニ山ノ多い
日本ノ面積ト人口ヲ睨ミ合スト、モウ今
日デハ世界デ平地デ是位人口ノ密ナ所ハ
ナイノデアリマス、ソコヘ日本ガ大東亞ト
言ッテ、モウ一ツ廣ク進出シテ行カナケレバ
ナラヌトスルト、私ハ矢張り大陸ト云フコ
トヲモウ少シ觀點ヲ置カナケレバナラナイ
ノデ、此ノ限リアル凸凹ノ島ヲ段々風潰シ
ニ猫ノ額ノヤウナ所ヲ手ヲ入レテ見テモ是
ハ先ガ知レテ居ル、若シ此處二十年カ三十
年デ日本民族ノ數ハ殖エナイ、又此處三十
年カ四十年ニ外ノ星ト衝突カ何カシテ地球
ガナクナルノダト云ヘバ、ソレハ私ハ結構
デアル、或ハ此處迄行カナクテモ宜イカ
モ知レナイ、ケレドモ此ノ悠久ナル將來ヲ
考ヘ、我々ノ子孫ヲ考ヘルト斯ウヤッテ
行ッテモモウ先ハ見エテ居ルノデヤナシカ
ト云フヤウナ氣ガスル、サウスルト後ノ子
孫ハドウ云フコトヲ言フカト云フト、ドウ
モ俺達ノ祖父サントカ大祖父サントカ、
サウ云フ連中ハ何處モカモ自分ガ苦シマギ
レニ手ノ著ケル所ノナイ所迄皆手ヲ著ケ

チャッテ、俺達ハ一體ドウナルノダト云ッテ子
孫ガ悲鳴ヲ揚ゲル時ガ來ルノデハナイカ、
出來ルダケ子孫ニ餘デラ殘シテヤル方ガ宜
イノデヤナシカト云フヤウナ氣ガスル、是
ハ夢見タヤウナ話デスガ、サウ云フ氣ガス
ル、何處モカモモウ尺寸ノ地モ耕サルハ
ナシト云フヤウニ極度迄ヤッテシマッテ、後
ノ子孫ハモウ何處ヲ見テモ手ヲ著ケル所ガ
ナイ、我々ハ外ヘ行クヨリ手ハナイノダト
云フ、サウ迄ヤラズトモ地球ハ廣イノダカ
ラ、モウ少シ觀點ヲ高キニ留メル必要ガア
ルノデハナイカト云フ氣持ガスル、ソレデ
當面ノ問題トシテハ、恐ラク此處數年ノ後
ニハ何デコンナニ殖シタノダトカ、増シタ
ノダト云フヤウナ聲ヲ聞ク時ガアルカモ
知レマセヌガ、今何ト云ッテモ支那事變ナリ
斯ウ云フ時局デ、次第ニ物資ガ足ラズ、勞
働力モ足ラズ、ドウシタナラバ我々ノ限
リアル人力ナリ又物ノ能率ヲ上ゲ得ルカト
云フコトニ我々力ヲ入レテ居ル時代デアリ
マスルガ、例ヘバ是ハ内務省或ハ厚生省ノ
問題ニモナラウト思ヒマスガ、矢張り農林
省ノ方トモ勿論關係ハアルト思フノデスガ、
此ノ都市計畫デ工業地帯トカ、商業地帯ト
カ、住宅地帯トカ、色々近頃ハ分ケテ居リ
マスガ、例ヘバ東京ノヤウナコンナ廣イ都
會地ト云フモノハモウ世界デナイノデヤナ
イカ、皆下ノ家モ下ノ家モ平家建ガ多イ、
精々二階建カ三階建位、ソレニ小サイ庭モ
持ッテ居ッテ、極ク平面的ニ非常ニ擴ガッテ
行ク、私共ノ友人デ東京市ニ居ル人、交通
事業ヲヤッテ居ル人達ハ、此ノ上段ニト擴
ガッテ來タレバ市ガ一ツノ體ヲ成シテ人ヲ運
ブコトガ出來ナイ、水道ノ水ノ供給ニシテモ、
電力ノ供給ニシテモ、交通ノ關係ニシテモ、

何ニシテモモウ「リミット」ヲ超エテ來テ居ル、
モウ出來ナイト云フコトヲ我々ノ友人ハ言ッ
テ居ル、現在ノ「ラッシュアワー」ノ狀態ヲ見テ
モ是ガ段々ヒドクナッテ行クカト思フト、何
カ茲ニ或一ツノ計畫ト云フモノヲ立テ直サ
ナケレバナラス、ノミナラズ一方デ日本ノヤ
ウニ此ノ都會地ニ綠地地帯ト言ヒマスカ、
公園ナドノ少イ所ハナイ、是ハモウ「ロン
ドン」「ベルリン」其ノ他ドシナ所ト較ベテ
見テモ公園地ノ此ノ全市街ニ對スル比率ト
云フ方カラ見ルト、日本ハ恐ラク十分ノ一
以下ニ少イ、偶、アッテモ殆ド豆ノヤウナ小サ
イモノガ到ル處ニアルダケアッテ、是デハ
此ノ大都市生活ノ健康ノ上カラ言ッテモ、今
ノヤウナ儘デハ一方デ體位ヲ増シ、健康ヲ
増シ、人口ヲ殖シ、此ノ民族ノ隆昌ヲ圖ルト
云フヤウナコトヲ言ッテ居ッテモ、實際ノ日本
ノ此ノ都會生活ト云フモノハソレニ逆行シ
テ居ルト私ハ思フ、是ハモウ都市計畫ナド
デモ計畫サレテ居ルノデヤナシカト思ヒマ
スガ、近頃ハ工場ヲ段々分散サシテ居ル、
是ハ空襲ナドヲ防グ意味モアリマセウ、又
サウ云フモノガアッテコッチ固マッテ殖エ
ト、其處ニ數萬ノ人ヲ吸收スルコトニナルノ
デアリマスカラ、今恐ラクハ住居地帯、或ハ
工場等ニ使フ爲ニ年々無クナル土地ト云フ
モノハハ夥シイモノダト思フ、ソレデ一
方デハサウ云フ地帯ノ建テ方等ノ制限ヲシ
テ、成ルベク横ニ擴ガラスヤウニト云フコ
トヲ考ヘル必要ガアルト共ニ、此ノ市街地
ノ内ナリ又其ノ附近ニ大キナ綠地地帯ト云
フモノヲ拵ヘルト云フコトハ、是ハモウ既
ニ軍部ナリ、内務省ナリ、厚生省ナリ、恐
ラク農林省アタリデモ御研究ト思ヒマス、
私モ色々聞イテ居リマスガ、サウ云フコト

ガナイト唯何ト言ヒマスカ、不規則ニ擴ガツテ行クダケデハ殆ド一ツノ體ヲ成シテ都市ノ生活ハ送レナイノデヤナイカ、チヨット速記ヲ止メテ下サイ

○委員長(伯爵黒木三次君) 速記中止

(速記中止)

○委員長(伯爵黒木三次君) 速記ヲ始メテ……

○下村宏君 ソレデ詰リ非常ニ私ニハ矛盾シタヤウナ要求デアリマスガ、モウ一ツ此ノ都市ガ膨脹シテ、段々附近ノ土地ヲ潰シテ行カナイヤウニト云フコトガ考ヘラレル、ソレカラ工場地帯ト云フモノガ空襲トノ關係カラモ段々之ヲ分散サスト云フコトガ、三年前ノ防空法ノ時分ニモ私、杉山陸軍大臣ト當時質問應答ヲ重ネタノデスガ、今日益々何ダカ其ノ機運ガ考ヘラレル、此ノ方面ノ家屋ノ建て方トカ、サウ云フコトガモウ一ツ決テ行クト、此ノ年々ノ住宅地ニ使ハレル場所ガ相當ドノ程度迄加減出來ルカ知ラスガ、或程度加減サレテ行クノデヤナイカ、サウシテ若シ工場地帯ハ運輸關係ト云フコトガアリマスカラ、サウ勝手ナ所ヘモ持ッテ行ケナイデセウガ、ソレ等ガ所謂普通ノ都會カラ又多少學校ナドモサウ云フ問題ガアリマスガ、兎ニ角サウ云フ風ニ按配ヲ立テルコトガ、ドウシテモ是カラ人口ガ増加シ、産業ガ開發スレバスル程、一方デ土地ヲ殖シテモ一方デ減ズル場合ガ相當多イト思ヒマスルカラ、是ハ御如才モナイト思ヒマスガ、サウ云フ點ニ付テモ何レ御調ニナッテ居ルト思ヒマスガ、此ノ機會ニ尙承ッテ置ケバ仕合セト思ヒマス

○國務大臣(石黒忠篤君) 只今伺ヒマシタコトモ大體モウ總括シテ御考ノ通りニ考ヘ

テ居リマス云フコトヲ申上グルニ過ギヌノデアリマスガ、委員會ノ連絡ト云フコトニ關シマシテハ、私モ全く御同感デアリマシテ、是非今後ニ於キマシテハ連絡ヲ密ニシテ參リタイト考ヘテ居リマス、今後各產業ニ關シマシテ作リマスル、内閣ニ作リマスル所ノモノナドハ是ハ資格ヲ申シマス云フト、隨分面倒ナ形式論ガアルト思フノデゴザイマス、滿洲國ノ官吏ヲ日本ノ官廳ノ委員ニシテ宜イカドウカト云フ問題ガ色々アルト思フ、併シナガシソレヲ統一シマシテ、委員デ惡ケレバ「オブザーヴァー」デモ宜ケレバ何デモ宜シイ、實質上ノ連絡ヲ十分ニ執ッテ行クト云フコトガ必要ダラウト云フコトヲ私ハ主張シテ居リマシタヤウナ次第デアリマス、ソレカラ其ノ連絡委員會デ以テ斯ウ云フヤウナ案ガ出來マシタナラバ、然ラバ外地デハドウスルカ、内地デハドウスルカト云フヤウナコトヲ、連絡ヲ執ッテ或ハ一緒ニ行ケルモノナラバ一緒ニ行ッテト云フコトニアリタイト云フ御希望デアリマス、是ハ全く御同感デアリマス、此ノ案ニ關シマスル具體ノ問題ヲ申上ゲマス云フト、此ノ案ニ關シマシテハ拓務省ト前カラ話合フシテ居ルノデアリマス、内地ダケガ一ツ案ヲ出シテ宜シイカト云フコトハ十分ニ相談ヲ致シマシタ、外地ニ於キマシテハ、殊ニ朝鮮ニ於キマシテハ差當リ米ノ問題ハチヨット手ガ廻リ難ナルカラ、サウカト云フ内地ニ案ヲ立テルノヲ止メテ吳レト云フ譯ニ行カスノデアリマス、朝鮮トシテハ雜穀ノ増産ト云フコトヲ差當リ努メタイト思フ、其ノ案デ行キタイト思フ、是非内地ニ於テハ農地開發ト云フ問題デ行キナサルヤウニ進ンデ貰ヒタイ、サウ云フコトデ此

ノ案ハ立テ、居ルノデアリマスカラ左様具體的ニハ御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ出來レバソレ等ノ案ヲ一緒ニシテ行キタイノデアリマスガ、是ハ連絡ヲ執ッテ出來テモ實ハ其ノ總督ノ權限ヤ何カデ拓務省モナカノヤリニタイ所ガアルノデヤナカラウカト私ハ考ヘル、前ノ案ニ關シマシテ私ガ松村サンノ御指摘デ思ヒ出シテ申上ゲタノデアリマスガ、ナカノ過去ニ於キマシテハ一應閣議決ツタコトモ、外地ノ關係デ行ハレナイコトニナッテシマフコトガアルノデアリマス、此ノ點ハ委員アタリガ如何ニ連絡致シマシテモ私ハ出來ヌコトガアルト思ヒマス、併シソレハイカヌコトカト思ヒマスルカ何トカ變ッテ行カナケレバ本當デナイト、斯ウ考ヘマス、ソレカラ餘リ招イテシマッテ、子孫ヘ餘地ヲ殘サスト云フヤウナコトハ考ヘルベキコトデヤナイカト云フヤウナコトハ御尤モダト思フノデアリマス、多少自然ノ儘ニアルベキ土地ガナクチャナラヌト私モ考ヘテ居リマスガ、併シ之ヲヤリマシテモ實ハ迎モソナ所迄參リマセヌト思ヒマス、又餘リ參リマスヤウナコトデアリマスレバ一期計畫デ止メテモ宜シイノデアリマス、實ハ此ノ計畫ハ差當リノ問題ト、多少長期ノ問題ト考ヘテ居ルノデアリマスガ、絕對ニ永久ノ問題ガニ依ッテ、左右セラルト云フコトニハ無論ナッテ居ラナイノデアリマス、此ノヤウニ思ハレルノデアリマス、水利ノ改良ノ比較的大規模ノ問題ノ如キモノハ是ハ内務省ノモノニ依リマシテハ、内務省ノ治水計畫ナドト密接ナ關係ヲ以チマシテ其ノ結果ト致シマシテノ農地方面ノ水利ノ改良ト云フモノヲ相當大キクヤラナケレバナラス、例ヘバ今度ノ豫算

ニ御協賛ヲ仰イデ居リマス内務省關係、北上川ノ改修ノ問題デアリマス、過去ニヤリマシタ北上川ノ改修ト云フモノハ内務省デハ十分辯解ノ餘地ガアリマセウガ、私共ニ言ハセマスト非常ニ理想的ニヤッテ居ルトハ思ハナイ、ソレ等ヲ全ク改案ヲ致シマシテ、是ハ軍事上ノ必要デ水力發電關係カラ非常ニ大キナ工事ヲ十六箇年度デヤリマス、アレヤリマスト非常ニ氾濫ガ大キイ北上川沿岸土地ガ非常ニ結構ナ土地ニナルノデアリマス、隨分大キイト思ヒマス、是等ノ所ガ附隨ヲ致シマシテ、農業水利ノ改良ヲ致シマスノモ隨分大キナ仕事ナンデアリマス、ソナヤウナ所ガ園地トシテ本法案ノ發動ト致シマシテ、開發營團ニ獨自ニヤラセマスル所ト、ソレカラ内務省ノ治水計畫ヤナンカト密接ナ連絡ヲ執リマシテ、並行シテヤッテ行キマスコトニ依ッテ非常ナ増産ガ出來マス所ト云フヤウナモノガアル、サウ云フヤウナモノノ目的ノ大半ト致シマシテ目指シテ居ルノデアリマス、其ノコトヲ御了解ヲ願ッテ置キタイト考ヘルノデアリマス、ソレカラ都市計畫ノ關係ニ付テノ御話ハ、モウ何レモ御尤モデゴザイマシテ、之ニ關シマシテハ一方造成ヲシテ、片方全ク無統制ニ不檢討ニ潰レ地ガ出來テ來ルト云フコトハ考ヘナケレバナラス、況ヤ防空ノ關係ナドニ於キマシテモ、建築ノ方ニモ十分ナ注意ヲ拂ハナケレバナラヌト同時ニ、綠地ヲ設ケルト云フヤウナコトニ付テモ十分考ヘナケレバナラスコトト思ッテ居リマス、ソレ等ノ點ヲ考慮致シマシテ、ナカナカ實施ノ上ニ於テハ困難ガ多イト思ヒマスルガ、軍當局トモ十分ノ了解ヲシテ貰ヒマシテ、實ハ農地管理令ノ方デ或限度ノ

農地ヲ潰シテ、工場ニスルト云ツクヤウナコトニ對シマスル「コントロール」ヲスルコトガ出來ルヤウナ法制ダケハ最近ニ備ヘマシテ此ノ實行ハナカ／＼面倒ナコトデアルト思ヒマスルガ、適當ナ運営ヲヤリマシテ其ノ方面ニ對シマスル制限モ必要ナ場合ニハヤッテ參リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○下村宏君 私ノ質問ハ終リマシタ

○松村眞一郎君 私ハ農林大臣ニモ御伺ヒシタイノデスガ、司法省ノ政府委員ニモ御尋ラシタイ、此ノ法案ヲ見マス、議會ニ提出ノ際ニハ司法大臣ハ連署シテ居ラレナイノデスガ、此ノ問題ハ餘程司法省ノ農地ニ對スル取扱振リナリ、法制上ノ考慮ヲ必要トスルコトガ多々アルト私ハ考ヘルノデス、ドウゾ司法省ノ政府委員ヲ御呼ヲ願ヒタイ

○委員長(伯爵黒木三次君) 承知致シマシタ

○松村眞一郎君 農林大臣ニ御伺ヒ申上ゲタイト思フコトハ……

○委員長(伯爵黒木三次君) 松村君ニ申上ゲスマガ、今日ハ大分時刻モ過ギテ居リマス、明日ハ午後一時半カラ開キタイト思ッテ居リマスノデ、其ノ際ニ於キマシテ司法省竝ニ農林大臣ニモオイデヲ願ッテ、御質問ヲ願ヒタイ、斯様ニ存ジマスルガ、如何デゴザイマスカ

○松村眞一郎君 承知致シマシタ

○委員長(伯爵黒木三次君) 左様御願ヒ致シマス、本日ハ是ニテ委員會ヲ散會致シマス、明日ハ午後一時半ヨリ開會致シマス、午後四時五十四分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵黒木 三次君

副委員長 男爵岩村 一木君

委員 侯爵中御門經恭君
子爵野村 益三君
子爵織田 信恒君
松村眞一郎君
内田 重成君
男爵小畑大太郎君
下村 宏君
永田秀次郎君
男爵坊城 俊賢君
三浦 新七君
大藪 守治君
二瓶泰次郎君
佐藤助九郎君
多木久米次郎君

委員外議員

國務大臣 農林大臣 石黒 忠篤君

政府委員 農林省總務局長 周東 英雄君
農林省農政局長 岸 良一君
食糧管理局長官 湯河 元威君

第四部第二七類 昭和十二年法律第九十號中改正法律案特別委員會議事速記録第五號

昭和十六年二月二十五日 貴族院

一七

昭和十六年二月二十八日印刷

昭和十六年三月一日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局